

関原発 第146号
2022年6月17日

原子力規制委員会 殿

大阪市北区中之島3丁目6番16号
関西電力株式会社
執行役社長 森本 孝

美浜発電所第3号機 定期事業者検査報告の一部補正について

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の16第3項の規定により、2021年9月22日付け関原発第389号をもって報告しました定期事業者検査について、別紙のとおり一部補正します。

別紙

美浜発電所第3号機

定期事業者検査報告の一部補正

定期事業者検査報告書

(定期事業者検査開始時)

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の16第3項の規定により次のとおり定期事業者検査について報告します。

氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名	名 称 関西電力株式会社 住 所 大阪市北区中之島3丁目6番16号 代表者の氏名 森本 孝
発電用原子炉を設置した工場又は事業所の名称及び所在地	名 称 美浜発電所 所在地 福井県三方郡美浜町丹生
検査に係る発電用原子炉施設の種類及び施設番号	第3号機 電気出力 826,000 kW 熱出力 2,432,000 kWt 当該発電用原子炉施設の種類は、別紙-1のとおり
検査の実績又は予定の概要	自（解列） 2021年10月23日 原子炉起動 2022年 8月10日（予定） 並列 2022年 8月12日（予定） 至（総合負荷） 2022年 9月 6日（予定） 定期事業者検査の計画及び実績は、別紙-2のとおり

別 紙－ 1

<p>発電用原子炉施設の 種類及び施設番号</p>	<p>第 3 号機 原子炉本体</p> <p>〃 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設</p> <p>〃 原子炉冷却系統施設</p> <p>〃 計測制御系統施設</p> <p>〃 放射性廃棄物の廃棄施設</p> <p>〃 放射線管理施設</p> <p>〃 原子炉格納施設</p> <p>〃 その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 補助ボイラー 緊急時対策所</p>
-------------------------------	---

検査名	今回の計画及び実績			備考
	※1	※2	※3	
クラス1機器供用期間中検査	—	○	—	
燃料集合体外観検査	—	●	—	2022.4.6 終了
燃料集合体炉内配置検査	—	○	—	
原子炉停止余裕検査	—	—	○	
クラス2機器供用期間中検査	—	○	—	
蒸気発生器伝熱管体積検査	—	●	—	2022.4.4 終了
加圧器安全弁機能検査	—	●	—	2021.12.24 終了
加圧器安全弁漏えい検査	—	●	—	2021.12.24 終了
加圧器安全弁分解検査	—	●	—	2021.12.16 終了
加圧器逃がし弁機能検査	—	●	—	2022.5.13 終了
加圧器逃がし弁漏えい検査	—	○	—	
加圧器逃がし弁分解検査	—	●	—	2022.2.3 終了
加圧器逃がし弁元弁機能検査	—	●	—	2022.5.23 終了
原子炉補機冷却系機能検査	—	○	—	
非常用炉心冷却系機能検査	—	○	—	
非常用炉心冷却系ポンプ分解検査	/	/	/	今回計画なし
非常用炉心冷却系主要弁分解検査	/	/	/	今回計画なし
補助給水系機能検査	—	○	—	
補助給水系ポンプ分解検査	/	/	/	今回計画なし
主蒸気安全弁機能検査	—	○	—	
主蒸気安全弁漏えい検査	—	●	—	2021.12.22 終了
主蒸気逃がし弁機能検査	—	●	—	2022.4.27 終了
主蒸気逃がし弁漏えい検査	—	●	—	2022.3.2 終了
主蒸気隔離弁機能検査	—	○	—	
制御棒駆動系機能検査	—	○	—	
ほう酸ポンプ分解検査	—	●	—	2022.5.9 終了
制御用空気圧縮系機能検査	—	●	—	2022.4.22 終了
安全保護系機能検査	—	○	—	
安全保護系設定値確認検査	—	●	○	2022.5.30 終了 (※2分)
プラント状態監視設備機能検査	—	○	—	
燃料取扱装置機能検査	—	●	—	2022.6.6 終了
アニュラス循環排気系機能検査	—	○	—	
アニュラス循環排気系フィルター性能検査	—	○	—	
中央制御室非常用循環系機能検査	—	●	—	2022.6.8 終了
中央制御室非常用循環系フィルター性能検査	—	●	—	2022.3.16 終了
気体廃棄物処理系機能検査	—	●	○	2022.4.27 終了 (※2分)
原子炉格納容器全体漏えい率検査	—	○	—	
原子炉格納容器局部漏えい率検査	/	/	/	今回計画なし

今回定期事業者検査計画及び実績 (○：計画、●：実績、—：計画・実績なし)

※1：先行実施検査 (前回の検査終了～解列前の期間)

※2：解列後～原子炉起動前の期間

※3：原子炉起動後～総合負荷性能検査までの期間

検査名	今回の計画及び実績			備考
	※1	※2	※3	
原子炉格納容器隔離弁機能検査	—	●	—	2022.6.15 終了
原子炉格納容器隔離弁分解検査	—	●	—	2022.3.8 終了
原子炉格納容器真空逃がし弁機能検査	—	●	—	2022.1.14 終了
原子炉格納容器安全系機能検査	—	●	—	2022.6.15 終了
原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	/	/	/	今回計画なし
原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	/	/	/	今回計画なし
原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	—	●	—	2022.3.17 終了
非常用予備発電装置機能検査（ディーゼル発電機の作動検査）	—	○	—	
非常用予備発電装置機能検査（ディーゼル発電機定格容量検査）	—	○	—	
非常用ディーゼル発電機分解検査	—	●	—	2022.4.22 終了
総合負荷性能検査	—	—	○	
蒸気タービン開放検査	—	○	—	
蒸気タービン性能検査	—	●	○	2022.6.13 終了（※2分）
ほう酸ポンプ機能検査	—	●	—	2022.5.18 終了
重大事故等クラス2機器供用期間中検査	—	○	—	
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査	—	○	—	
その他原子炉注水系ポンプ分解検査	/	/	/	今回計画なし
その他原子炉注水系主要弁分解検査	/	/	/	今回計画なし
その他原子炉注水系機能検査	—	○	—	
最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査	—	●	—	2022.4.27 終了
重大事故時安全停止回路機能検査	—	●	—	2022.6.3 終了
エリアモニタ機能検査	—	●	—	2022.6.16 終了
中央制御室の居住性確認検査	/	/	/	今回計画なし
緊急時対策所の居住性確認検査	—	●	—	2021.10.5 終了
可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	/	/	/	今回計画なし
その他非常用発電装置の機能検査	—	●	—	2022.2.16 終了
直流電源系機能検査	—	○	—	
直流電源系作動検査	—	○	—	
供用期間中特別検査のうちクラス2管（原子炉格納容器内）特別検査	—	●	—	2022.1.28 終了
供用期間中特別検査のうちクラス1機器Ni基合金使用部位特別検査	—	○	—	
供用期間中特別検査のうち蒸気発生器管台溶接部の健全性確認検査	/	/	/	今回計画なし
供用期間中特別検査のうちクラス1配管特別検査	—	●	—	2022.5.17 終了

今回定期事業者検査計画及び実績（○：計画、●：実績、—：計画・実績なし）

※1：先行実施検査（前回の検査終了～解列前の期間）

※2：解列後～原子炉起動前の期間

※3：原子炉起動後～総合負荷性能検査までの期間

検査名	今回の計画及び実績			備考
	※1	※2	※3	
タービンバイパス弁機能検査	—	●	—	2022.5.19 終了
野外モニタ機能検査	—	●	—	2022.3.10 終了
液体廃棄物処理系機能検査	—	●	—	2022.5.11 終了
固体廃棄物処理系焼却炉機能検査				今回計画なし
流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査	—	●	—	2022.4.6 終了
計測制御系機能検査	—	○	—	
計測制御系監視機能検査	—	○	○	
原子炉の停止制御回路健全性確認検査	—	●	—	2022.5.30 終了
燃料取扱設備検査	—	●	—	2021.11.1 終了
放射線監視装置機能検査	—	○	○	
1次系換気空調設備検査	—	○	—	
格納容器サンプル水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査	—	○	—	
原子炉格納容器供用期間中検査	—	○	—	
炉物理検査	—	—	○	
1次系ポンプ機能検査	—	●	—	2022.5.30 終了
1次系弁検査	—	●	—	2022.5.26 終了
1次系安全弁検査	—	●	—	2022.2.10 終了
1次系逆止弁検査	—	●	—	2022.3.25 終了
1次系真空破壊弁検査	—	●	—	2021.11.30 終了
1次系破壊板検査				今回計画なし
1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	—	●	—	2022.2.16 終了
1次系熱交換器検査	—	●	—	2022.3.1 終了
1次冷却材ポンプ機能検査	—	○	○	
燃料取扱設備検査（動作・インターロック試験等）	●	●	—	2021.8.24 終了（※1分） 2021.6.6 終了（※2分）
液体廃棄物処理系設備検査	—	●	—	2022.4.19 終了
耐震健全性検査	—	○	—	
構造健全性検査	—	○	—	
核計装設備検査	—	○	○	
制御棒クラスタ動作検査	—	○	—	
制御棒クラスタ検査	—	○	—	
制御棒位置指示装置設定値検査	—	○	—	
炉内計装用シンプルチューブ体積検査				今回計画なし

今回定期事業者検査計画及び実績（○：計画、●：実績、—：計画・実績なし）

※1：先行実施検査（前回の検査終了～解列前の期間）

※2：解列後～原子炉起動前の期間

※3：原子炉起動後～総合負荷性能検査までの期間

検査名	今回の計画及び実績			備考
	※1	※2	※3	
安全保護系機能検査（パーミッシブロジック検査）	—	●	—	2022.6.12 終了
インバータ機能検査	—	●	—	2022.4.26 終了
総合インターロック検査	—	●	—	2022.6.14 終了
レストレイント検査	/	/	/	今回計画なし
液体廃棄物処理系アスファルト固化設備機能検査	●	○	—	2021.8.17 終了（※1分）
廃樹脂処理装置運転性能検査	—	●	—	2022.6.1 終了
固体廃棄物処理系溶融炉運転性能検査	—	●	—	2022.4.11 終了
流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査（最終の流入サンプル）	—	●	—	2022.4.13 終了
2次系ポンプ分解検査	—	●	—	2022.4.22 終了
2次系ポンプ機能検査	—	●	—	2022.6.7 終了
2次系弁検査	—	●	—	2022.3.8 終了
2次系安全弁検査	—	●	—	2022.1.27 終了
2次系容器検査	—	●	—	2022.3.25 終了
2次系熱交換器検査	—	●	—	2022.1.7 終了
2次系配管検査	—	○	○	
補助ボイラー開放検査	—	●	—	2022.2.16 終了
補助ボイラー性能検査	—	●	—	2022.3.23 終了
補助ボイラー設備検査	—	●	—	2022.3.23 終了
非常用予備発電機付属設備検査	—	●	—	2022.6.8 終了
クラス3機器供用期間中検査	—	○	—	
蒸気タービン附属設備機能検査	—	—	○	
化学体積制御系機能検査	—	—	○	
浸水防護設備検査	/	/	/	今回計画なし
その他非常用発電装置の付属設備検査	—	●	—	2022.2.16 終了
可搬型重大事故等対処設備機能検査	●	●	—	2021.9.9 終了（※1分） 2022.6.14 終了（※2分）
可搬型代替電源設備検査	—	●	—	2022.1.20 終了
火災防護設備検査	/	/	/	今回計画なし
原子炉格納容器再循環サンプルスクリーン検査	/	/	/	今回計画なし
可搬型換気空調設備検査	—	●	—	2021.10.5 終了
重大事故等クラス3機器供用期間中検査	—	●	—	2022.3.31 終了
燃料取扱設備検査（使用済燃料取扱工具）	/	/	/	今回計画なし

今回定期事業者検査計画及び実績（○：計画、●：実績、—：計画・実績なし）

※1：先行実施検査（前回の検査終了～解列前の期間）

※2：解列後～原子炉起動前の期間

※3：原子炉起動後～総合負荷性能検査までの期間

添 付 書 類

- 添付書類一 定期事業者検査の計画
- 添付書類二 発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について
定量的に定める施設管理の目標
- 添付書類三 施設管理の実施に関する計画
- 添付書類四 定期事業者検査の判定方法
- 添付書類五 前回の定期事業者検査報告内容からの変更内容
- 添付書類六 保全の有効性評価の結果に関する説明書

添付書類一 定期事業者検査の計画

美 浜 発 電 所

第 3 号 機

第 2 6 回定期事業者検査計画書

目 次

1. 定期事業者検査の計画工程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 前回の定期事業者検査からの変更点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

別紙：定期事業者検査工程

1. 定期事業者検査の計画工程

定期事業者検査（実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第55条第1項の時期に行う定期事業者検査）については、次の期間で実施する。

(1) 定期事業者検査の工程

自 2021年10月23日

至 2022年 9月 6日

（並列日は、2022年8月12日（解列から並列までの期間は294日間））

(2) 当該定期事業者検査中に実施する工事

(1)の定期事業者検査工程の策定においては、次の工事の工事期間も考慮し工程策定した。

・特定重大事故等対処施設設置工事

原子炉補助建屋等への故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムにより、原子炉を冷却する機能が喪失し炉心が著しく損傷した場合に備えて、原子炉格納容器の破損を防止するための機能を有する施設を設置する。

2. 前回の定期事業者検査からの変更点

(1) クラス1機器供用期間中検査、クラス2機器供用期間中検査、クラス3機器供用期間中検査、供用期間中特別検査のうちクラス1機器N i 基合金使用部位特別検査、供用期間中特別検査のうちクラス2管（原子炉格納容器内）特別検査、原子炉格納容器供用期間中検査、重大事故等クラス2機器供用期間中検査、重大事故等クラス3機器供用期間中検査、蒸気発生器伝熱管体積検査

・N R A 文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」の改正版（令和元年6月5日原規技発第1906051号）の施行及び社団法人日本機械学会JSME S NA1-2012/2013/2014「発電用原子力設備規格維持規格（2012年版／2013年追補／2014年追補）」の適用。

(2) クラス1機器供用期間中検査、重大事故等クラス2機器供用期間中検査、クラス3機器供用期間中検査

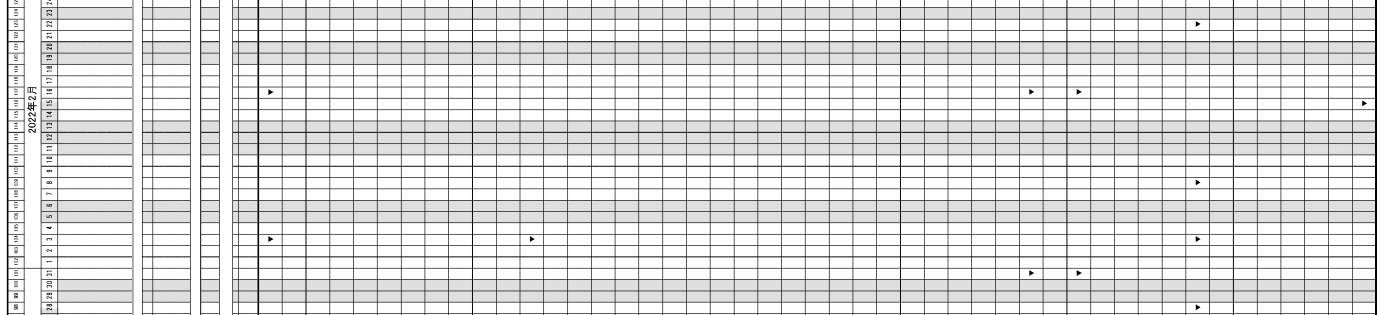
・社団法人日本機械学会JSME S NA1-2012/2013/2014「発電用原子力設備規格維持規格（2012年版／2013年追補／2014年追補）」に従った検査プログラムに変更。（N R A 文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」による読み替え及び規格変更による要求事項記載の変更）

(3) 供用期間中特別検査のうちクラス1配管特別検査

・大飯発電所3号機第18回定期事業者検査「クラス1配管供用期間中検査」において確認された加圧器スプレイラインの1次冷却材管台と管継手（エルボ）の配管溶接部の有意な欠陥指示に対する水平展開により、社団法人日本機械学会JSME S NA1-2012/2013/2014「発電用原子力設備規格維持規格（2012年版／2013年追補／2014年追補）」の「IA-2320検査プログラム(2)」に基づき、運転経験から経年劣化が想定される場合として、個別検査を追加。

定期事業者検査工程

要領番号	検査名	2022年10月			2022年11月			2022年12月			2023年1月			2023年2月			備考
		1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	
MA-20-01	クワース機器供用期間中検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-02	燃料集合体弁調整検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-03	燃料集合体弁閉圧検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-04	原子炉停止弁調整検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-05	クワース機器供用期間中検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-06	蒸気発生器伝熱管外側検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-08	加圧器安全弁機能検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-09	加圧器安全弁調えい検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-10	加圧器安全弁分解検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-11	加圧器調えい弁調えい検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-12	加圧器調えい弁調えい検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-13	加圧器調えい弁弁機能検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-14	加圧器調えい弁弁機能検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-15	原子炉種機冷却系機能検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-16	非常用炉心冷却系機能検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-17	非常用炉心冷却系メインポンプ分解検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-18	非常用炉心冷却系主要弁分解検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-19	非常用炉心冷却系機能検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-20	補助冷却系機能検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-21	補助冷却系ポンプ分解検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-22	主蒸気安全弁機能検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-23	主蒸気安全弁調えい検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-24	主蒸気安全弁弁調整検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-25	主蒸気安全弁弁調整検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-26	主蒸気調えい弁調えい検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-27	主蒸気調えい弁弁調整検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-28	主蒸気調えい弁調えい検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-29	制御駆動系機能検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-30	制御駆動系機能検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-31	排気ポンプ分解検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-32	制御駆動系圧縮系機能検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-33	安全保護系機能検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-34	安全保護系設定値調整検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-35	プラント状態監視設備機能検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-36	燃料取扱設備機能検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-38	原子炉燃料監視系機能検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-39	原子炉燃料監視系システム性能検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-40	原子炉燃料監視系非常用監視系機能検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-41	中央制御室非常用監視系システム機能検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-42	気体減速物量管理系機能検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-43	原子炉燃料監視系安全弁調えい弁調整検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-44	原子炉燃料監視系安全弁調えい弁調整検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-45	原子炉燃料監視系安全弁弁調整検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-46	原子炉燃料監視系安全弁弁調整検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-47	原子炉燃料監視系安全弁弁調整検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-48	原子炉燃料監視系安全弁弁調整検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-49	原子炉燃料監視系安全弁弁調整検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-50	原子炉燃料監視系安全弁弁調整検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-51	原子炉燃料監視系安全弁弁調整検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-52	非常用炉心冷却系機能検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					
MA-20-53	非常用炉心冷却系機能検査				▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼					



▼ 電源停止
▼ 電源停止
▼ 電源停止

竣工日数		2022年度												備考
月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
主要工程														
要綱番号	検査名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	△ 検査なし ▽ 検査あり ○ 検査済
MP-20-01	クラスシ機器供用前中間検査	○												
MP-20-02	燃料集合体内部圧検査													
MP-20-03	燃料集合体内部圧検査													
MP-20-04	原子炉停止系統検査			▽										
MP-20-05	クラスシ機器供用前中間検査													
MP-20-06	蒸気発生器熱管体圧検査													
MP-20-08	加圧器安全弁機能検査													
MP-20-09	加圧器安全弁漏えい検査													
MP-20-10	加圧器安全弁分解検査													
MP-20-11	加圧器遊動弁機能検査			▽										
MP-20-12	加圧器遊動弁漏えい検査													
MP-20-13	加圧器遊動弁分解検査													
MP-20-14	加圧器遊動弁弁元弁機能検査													
MP-20-15	原子炉種機冷却系機能検査													
MP-20-16	非常用炉心冷却系機能検査													
MP-20-17	非常用炉心冷却系サブポンプ分解検査													
MP-20-18	非常用炉心冷却系安全弁分解検査													
MP-20-19	非常用炉心冷却系サブポンプ分解検査													
MP-20-20	非常用炉心冷却系サブポンプ分解検査													
MP-20-21	非常用炉心冷却系サブポンプ分解検査													
MP-20-22	非常用炉心冷却系サブポンプ分解検査													
MP-20-23	種機冷却系機能検査													
MP-20-24	種機冷却系サブポンプ分解検査													
MP-20-25	主蒸気安全弁機能検査													
MP-20-26	主蒸気安全弁漏えい検査													
MP-20-27	主蒸気遊動弁機能検査													
MP-20-28	主蒸気遊動弁漏えい検査													
MP-20-29	主蒸気遊動弁分解検査													
MP-20-30	制御棒駆動系機能検査			▽										
MP-20-31	棒制御弁分解検査													
MP-20-32	制御棒駆動系機能検査													
MP-20-33	安全保護系機能検査													
MP-20-34	安全保護系設定値調整検査													
MP-20-35	プラント状態監視設備機能検査													
MP-20-36	燃料取扱設備機能検査													
MP-20-38	アニオス駆動系サブポンプ機能検査													
MP-20-39	アニオス駆動系サブポンプ機能検査													
MP-20-40	中央制御室非常用駆動系機能検査													
MP-20-41	中央制御室非常用駆動系サブポンプ機能検査													
MP-20-42	気体検査物温測系機能検査													
MP-20-43	原子炉燃料要素外部漏えい率検査													
MP-20-44	原子炉燃料要素外部漏えい率検査													
MP-20-45	原子炉燃料要素開閉弁機能検査													
MP-20-46	原子炉燃料要素開閉弁分解検査													
MP-20-47	原子炉燃料要素開閉弁漏えい率検査													
MP-20-48	原子炉燃料要素安全弁サブポンプ分解検査													
MP-20-49	原子炉燃料要素安全弁サブポンプ分解検査													
MP-20-50	原子炉燃料要素安全弁サブポンプ分解検査													
MP-20-51	原子炉燃料要素安全弁サブポンプ分解検査													
MP-20-52	非常用炉心冷却系サブポンプ分解検査													
MP-20-53	非常用炉心冷却系サブポンプ分解検査													
MP-20-54	非常用炉心冷却系サブポンプ分解検査													
MP-20-55	非常用炉心冷却系サブポンプ分解検査													
MP-20-56	非常用炉心冷却系サブポンプ分解検査													
MP-20-57	非常用炉心冷却系サブポンプ分解検査													

添付書類二 発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について
定量的に定める施設管理の目標

目 次

1. 保全活動管理指標	1
-------------	---

別紙：保全活動管理指標

1. 保全活動管理指標

保全の有効性を監視、評価するために、保全重要度を踏まえ、「プラントレベル」及び「系統」レベルの保全活動管理指標及びその目標値を別紙のとおり設定する。

保全活動管理指標

保全活動管理指標

(1/17)

1. プラントレベル

項目	目標値
計画外原子炉自動・手動スクラム回数	<1回/7000臨界時間
計画外出力変動回数	<2回/7000臨界時間
工学的安全施設の計画外作動回数	<1回

2. 系統レベル

系統名	要求機能	保全活動管理指標			備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値		
原子炉冷却系統	原子炉冷却材圧力バカダリ機能 (PS-1)	<1回/サイクル	—		
	原子炉冷却材圧力バカダリの過圧防止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	—		
	安全弁及び逃がし弁の吹き止まり機能 (PS-2)	<1回/サイクル	—		
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	[加圧器逃がし弁] <1回/サイクル [加圧器逃がし弁元弁、加圧器後備ヒータ] <2回/サイクル	[加圧器逃がし弁、元弁、 加圧器後備ヒータ] <72時間/2サイクル/弁、ヒータ		※：逃がし弁駆動空気、ヒータ電源含む
	事故時のプラント状態の把握機能 (MS-2)	<2回/サイクル	—		
	未臨界維持機能(充てんライン経由) (MS-1)	<1回/サイクル	[系統共通箇所以外] <240時間/2サイクル		
化学体積制御系統	<ul style="list-style-type: none"> 未臨界維持機能(ほう酸注入タンク経由)ほう酸水を原子炉へ提供) (MS-1) 炉心冷却機能 (MS-1) 	<1回/サイクル	トリンA<240時間/2サイクル トリンB<240時間/2サイクル		
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (PS-2)	<2回/サイクル	—		
	異常状態の緩和機能 (MS-2) (補給水制御弁閉止)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル		
	事故時のプラント状態の把握機能 (MS-2)	<2回/サイクル	—		

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
余熱除去系統	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	炉心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	レベルA<240時間/2サイクル レベルB<240時間/2サイクル	
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (PS-2)	<2回/サイクル	—	
	事故時のブラント状態の把握機能 (MS-2)	<2回/サイクル	—	
	アクシデントマネジメント対応機能〔代替再循環〕	<2回/サイクル	<720時間/2サイクル	
燃料取替用水系統	<ul style="list-style-type: none"> ・未臨界維持機能 (MS-1) ・炉心冷却機能、放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1) 	<1回/サイクル	[燃料取替用水システム] <1時間/2サイクル	
	燃料プール水の補給機能 (MS-2)	<2回/サイクル	[燃料取替用水システム] <240時間/2サイクル	
	事故時のブラント状態の把握機能 (MS-2)	<1回/サイクル	—	

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
安全注入系統	<ul style="list-style-type: none"> 炉心冷却機能 (MS-1) 未臨界維持機能 (MS-1) 	<1回/サイクル	[高圧注入系、低圧注入系] トライA<240時間/2サイクル トライB<240時間/2サイクル [蓄圧注入系※] 1時間/2サイクル/基 [ほう酸注入系] <1時間/2サイクル	※：蓄圧注入系は未臨界維持機能を有しない。
	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (PS-2)	<2回/サイクル	—	
	事故時のプラント状態の把握機能 (MS-2)	<2回/サイクル	—	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	[よう素除去薬品系] <72時間/2サイクル [よう素除去薬品系以外] トライA<240時間/2サイクル トライB<240時間/2サイクル	
	アクシデントマネジメント対応機能 [代替再循環、格納容器内注水]	<2回/サイクル	<720時間/2サイクル	
事故時のプラント状態の把握機能 (MS-2)	<2回/サイクル	—		
格納容器圧力低減系統 (格納容器内注水)				

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
蒸気発生器アンダーワン系統	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	< 1回/サイクル	< 72時間/2サイクル/弁	
換気空調設備 (格納容器再循環系)	アクシデントマネジメント対応機能 [格納容器自然対流冷却]	< 2回/サイクル	< 720時間/2サイクル	
換気空調設備 (補助建屋よう素除去排気系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	< 1回/サイクル	トレインA < 240時間/2サイクル トレインB < 240時間/2サイクル トレイン共通箇所 < 72時間/2サイクル	
換気空調設備 (ニュートラス気再循環系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1) (1次冷却材喪失事故時、アンニュラス部を負圧に保ち、また、原子炉格納容器からアンニュラス部に漏えいした空気を浄化再循環し、環境に放出される核分裂性生物の濃度を減少させる機能)	< 1回/サイクル	トレインA < 240時間/2サイクル トレインB < 240時間/2サイクル	
換気空調設備 (ニュートラス気再循環系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1) (アンニュラス圧力が設定値に達すると、アンニュラス戻り弁及び全量排気弁/少量排気弁を自動開閉し、アンニュラス部を負圧に保つ機能)	< 1回/サイクル	トレインA < 240時間/2サイクル トレインB < 240時間/2サイクル	
換気空調設備 (格納容器排気筒)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-2)	< 2回/サイクル	—	
換気空調設備 (格納容器排気筒)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	< 1回/サイクル	—	

系統名	要求機能	保全活動管理指標			備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	目標値	
換気空調設備(ボイラ/高圧注入ポンプ室冷却系)	炉心冷却機能(間接関連系)(MS-2)	<1回/サイクル	トインA<240時間/2サイクル トインB<240時間/2サイクル	当該空調設備は次の安全機能を兼ねる。 ・未臨界維持機能(間接関連系)(MS-2) ・原子炉停止後の除熱機能(間接関連系)(MS-2) ・放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び低減機能(間接関連系)(MS-2)	
換気空調設備(スプレ/余熱除去ポンプ室冷却系)	炉心冷却機能(間接関連系)(MS-2)	<2回/サイクル	トインA<240時間/2サイクル トインB<240時間/2サイクル	当該空調設備は次の安全機能を兼ねる。 ・原子炉停止後の除熱機能(間接関連系)(MS-2) ・放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び低減機能(間接関連系)(MS-2)	
換気空調設備(制御室空調系)	・安全上特に重要な関連機能(MS-1) ・安全上特に重要な関連機能(直接関連系)(MS-1)	<1回/サイクル	トインA<720時間/2サイクル トインB<720時間/2サイクル トイン共通箇所<240時間/2サイクル		
換気空調設備(中央制御室非常用循環系)	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	トインA<720時間/2サイクル トインB<720時間/2サイクル トイン共通箇所<240時間/2サイクル		
	安全上特に重要な関連機能の情報提供系(MS-2)	<2回/サイクル	—		
換気空調設備(アイゼル発電機室換気系)	安全上特に重要な関連機能(間接関連系)(MS-2)	<2回/サイクル	トインA<240時間/2サイクル トインB<240時間/2サイクル		

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
換気空調設備(中間建 屋送・排気系)	安全上特に重要な関連機能(間接関連系)(MS-2)	<2回/サイクル	トレインA<240時間/2サイクル トレインB<240時間/2サイクル	
	原子炉停止後の除熱機能(MS-1)	<1回/サイクル	[主蒸気安全弁] <6時間/2サイクル/弁 [主蒸気逃がし弁] <168時間/2サイクル/弁 [主蒸気止弁※] <8時間/2サイクル/弁	※:バースト弁を含む
主管系統 (主蒸気系統)	異常状態の緩和機能(MS-2)	<2回/サイクル	<72時間/2サイクル/弁	
	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	—	
主管系統 (主給水系統)	原子炉停止後の除熱機能(MS-1)	<1回/サイクル	[主給水隔離弁] <72時間/2サイクル/弁	
	異常状態の緩和機能(MS-2)	<2回/サイクル	[主給水制御弁※] <72時間/2サイクル/弁	※:バースト制御弁を含む
主管系統 (補助給水系統)	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	—	
	原子炉停止後の除熱機能(MS-1)	<1回/サイクル	[復水タンク] <168時間/2サイクル [復水タンク以外] 補助給水系(電動)トレインA<240時間/2サイクル トレインB<240時間/2サイクル 補助給水系(タービン動)<240時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	—	

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
主幹線結線	安全上特に重要な関連機能 (当該系) (MS-1)	<1回/サイクル	<8時間/2サイクル/母線	
直流系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	[直流母線] <2時間/2サイクル/母線 [蓄電池] <240時間/2サイクル/基	
	安全上特に重要な関連機能の情報提供系 (MS-2)	<2回/サイクル	—	
特高開閉所設備	電源供給機能 (PS-3) [リスク重要度「高」設備]	<2回/サイクル	—	
計器用電源系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<2時間/2サイクル/母線	
起動変圧器設備	電源供給機能 (PS-3) [リスク重要度「高」設備]	<2回/サイクル	—	
予備変圧器設備	A、電源供給機能 (PS-3) [リスク重要度「高」設備]	<2回/サイクル	—	
所内保護・計量設備	安全上特に重要な関連機能 (非常用母線の保護機能) (MS-1)	<1回/サイクル	<8時間/2サイクル/母線	
	安全上特に重要な関連機能 (非常用所内電源系) (MS-1)	<1回/サイクル	<6時間/2サイクル/チャンネル	
	工学的安全施設及び原子炉停止系の作動信号の発生機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<6時間/2サイクル/チャンネル	
	安全上特に重要な関連機能の情報提供系 (MS-2)	<2回/サイクル	—	

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
系統独立制御盤(緊急時対応 (中央制御室))	制御室外からの安全停止機能(MS-2)	<2回/サイクル	<720時間/2サイクル/機能	
	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	トインA<240時間/2サイクル トインB<240時間/2サイクル	
原子炉補機冷却水系統	事故時のプラント状態の把握機能(直接関連系)(MS-2)	<2回/サイクル	—	
	事故時のプラント状態の把握機能(P.A.M機能)(MS-2)	<2回/サイクル	—	
	アクシデントマネジメント対応機能[代替補機冷却、格納容器自然対流冷却]	<2回/サイクル	<720時間/2サイクル	
	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	トインA<240時間/2サイクル トインB<240時間/2サイクル	
1次系海水系統	安全上特に重要な関連機能(間接関連系)(MS-3) [リスク重要度「高」設備]	<2回/サイクル	<240時間/2サイクル	
	安全上特に重要な関連機能の情報提供系(MS-2)	<2回/サイクル	—	

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
冷水系統	安全上特に重要な関連機能（直接関連系）（MS-1）	<1回/サイクル	トレンA<240時間/2サイクル トレンB<240時間/2サイクル	
	アクシデントマネジメント対応機能【代替補機冷却】	<2回/サイクル	<720時間/2サイクル	
1次系統材料採取系統	事故時のプラント状態の把握機能（MS-2）	<2回/サイクル	—	
計器用空気系統 （1次系）	安全上特に重要な関連機能（MS-1）	<1回/サイクル	トレンA<1時間/2サイクル トレンB<1時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能（MS-2）	<2回/サイクル	—	
タービン発電機冷却水系統	安全上特に重要な関連機能（MS-1）	<1回/サイクル	トレンA<240時間/2サイクル トレンB<240時間/2サイクル	
タービン発電機始動空気系統	A. 安全上特に重要な関連機能（MS-1） C. 安全上特に重要な関連機能（吸気系）（MS-1）	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
ディーゼル発電機潤滑油系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
ディーゼル発電機燃料系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
非常用ディーゼル発電機設備	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
消火水設備系統	アクシデンントマネジメント対応機能 [格納容器内注水]	<2回/サイクル	<720時間/2サイクル	
気体廃棄物処理系統	原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されないものであって放射性物質を貯蔵する機能 (PS-2)	<2回/サイクル	—	
原水・ろ過水・飲料水系統	アクシデンントマネジメント対応機能 [格納容器内注水]	<2回/サイクル	<720時間/2サイクル	

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
原子炉保護装置	原子炉停止系への作動信号の発生機能 (MS-1)	<1回/サイクル	原子炉保護系論理回路 モード1,2<6時間/2サイクル/トレイン モード3,4(トリップ)遮断器が閉じている場合 <48時間/2サイクル/トレイン 原子炉保護系信号部手動トリップ <48時間/2サイクル/チャネル 自動トリップ<6時間/2サイクル/チャネル インタロック<1時間/2サイクル/チャネル	
	工学的安全施設への作動信号の発生機能 (MS-1)	<1回/サイクル	工学的安全施設等作動論理回路 <6時間/2サイクル/トレイン 工学的安全施設等作動信号部 手動<48時間/2サイクル/チャネル 自動<6時間/2サイクル/チャネル インタロック<1時間/2サイクル/チャネル タイセトル発電機起動論理回路 <6時間/2サイクル/トレイン 中央制御室非常用循環系作動論理回路 <720時間/2サイクル/トレイン	
炉外核計装装置	定検中の炉心の監視機能 [リスク重要度「高」設 備]	<2回/サイクル	—	
エリアブ・リセテンス装置	事故時のプラント状態の把握機能 (MS-2)	<2回/サイクル	—	
燃料取扱設備	燃料を安全に取り扱う機能 (PS-2)	<2回/サイクル	—	
燃料取扱設備 構築物	原子炉冷却材圧力バウダングダリに直接接続されてい ないものであって放射性物質を貯蔵する機能 (PS- 2)	<2回/サイクル	—	
	燃料を安全に取り扱う機能 (PS-2)	<2回/サイクル	—	

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
炉内構造物	<ul style="list-style-type: none"> 炉心形状の維持機能 (炉心支持機能) (PS-1) 炉心形状の維持機能 (冷却材流路形成機能) (PS-1) 	<1回/サイクル	—	
	原子炉の緊急停止機能 (制御棒クラスタ案内機能) (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	炉心形状の維持機能 (PS-1)	<1回/サイクル	—	
	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉の緊急停止機能 (MS-1) 未臨界維持機能 (MS-1) 	<1回/サイクル	—	
原子炉格納容器及びフュース	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (原子炉格納容器バウンダリ機能) (MS-1)	<1回/サイクル	<ul style="list-style-type: none"> <4時間/2サイクル/弁 <24時間/2サイクル/コアロッド 	
制御棒駆動装置 (機械系)	過剰反応度の印加防止機能 (PS-1)	<1回/サイクル	—	
	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉の緊急停止機能 (MS-1) 未臨界維持機能 (MS-1) 	<1回/サイクル	—	
制御棒駆動装置 (電気系)	原子炉の緊急停止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<ul style="list-style-type: none"> トリップ遮断器 モード1, 2 <1時間/2サイクル/トリップ モード3, 4 (トリップ遮断器が閉じている場合) <48時間/2サイクル/トリップ 	
	事故時のプラント状態の把握機能 (MS-2)	<2回/サイクル	—	

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
原子炉建屋	・放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1) ・放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (アニュラス部を構成する機能) (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	火災防護機能 (間接関連系) (MS-2相当)	<2回/サイクル	—	
	溢水による損傷防止機能 (間接関連系) (MS-2相当)	<2回/サイクル	—	
付属建屋	竜巻防護機能 (間接関連系) (MS-2相当)	<2回/サイクル	—	
	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	—	
取水口・放水口設備	浸水防護機能 (間接関連系) (MS-2相当)	<2回/サイクル	—	
	津波監視機能 (間接関連系) (MS-2相当)	<2回/サイクル	—	
	火災防護機能 (間接関連系) (MS-2相当)	<2回/サイクル	—	

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
重大事故等対処設備	緊急停止失敗時に原子炉を未臨界にするための設備 (SA-2)	< 1回/サイクル	< 720時間/2サイクル	
	1次系のフィードアンドブリードをするための設備 (SA-2)	< 1回/サイクル	充てん/高圧注入ポンプ < 240時間/2サイクル 加圧器逃がし弁 < 72時間/2サイクル	
	炉心注水をするための設備 (SA-2)	< 1回/サイクル	炉心注水 (非常用炉心冷却系) 炉心注水 (蓄圧注入系) 代替炉心注水 (C充てん/高圧注入ポンプ) < 720時間/2サイクル 代替炉心注水 (A、B内部スプレポンプ) < 720時間/2サイクル 代替炉心注水 (可搬式代替低圧注水ポンプ) < 720時間/2サイクル 代替再循環 (A、B内部スプレポンプ (RHRS-CSS連絡ライン 使用)) < 72時間/2サイクル 代替再循環 (B余熱除去ポンプ・B充てん/高圧注入ポンプ (海水冷却)) < 720時間/2サイクル	
	1次冷却系の減圧をするための設備 (SA-2)	< 1回/サイクル	加圧器逃がし弁による減圧 (窒素ポンプまたは可搬式空圧縮機を使用した減圧) < 240時間/2サイクル (可搬型バッテリーを使用した減圧) < 720時間/2サイクル	
	原子炉格納容器スプレレイ等をするための設備 (SA-2)	< 1回/サイクル	原子炉格納容器スプレレイ 代替原子炉格納容器スプレレイ (恒設代替低圧注水 ポンプ) < 720時間/2サイクル 代替原子炉格納容器スプレレイ (原子炉下部キャビ ティ注水ポンプ) < 72時間/2サイクル	

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
重大事故等対処設備	原子炉格納容器内自然対流冷却するための設備 (SA-2)	< 1回/サイクル	原子炉格納容器内自然対流冷却 <720時間/2サイクル 大容量ポンプによる原子炉格納容器内自然対流冷却 <240時間/2サイクル	
	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)をするための設備(SA-2)	< 1回/サイクル	—	
	蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出)をするための設備(SA-2)	< 1回/サイクル	<72時間/2サイクル	
	水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備(SA-2)	< 1回/サイクル	水素濃度低減 (静的触媒式水素再結合装置) <72時間/2サイクル 水素濃度低減 (原子炉格納容器水素燃焼装置) — 水素濃度監視 <720時間/2サイクル	
	水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止する等のための設備(SA-2)	< 1回/サイクル	Bアニュウラス循環系 <72時間/2サイクル 代替空気(窒素)系配 <240時間/2サイクル	
	使用済燃料ピットの冷却等のための設備(SA-2)	< 1回/サイクル	海水から使用済燃料ピットへの注水 — 使用済燃料ピットへのスプレイ — 使用済燃料ピットの監視 — 略油用ドラム缶による燃料補給 <48時間/2サイクル	
	発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための設備(SA-2)	< 1回/サイクル	<240時間/2サイクル	
	重大事故等の収束に必要な水の供給設備(SA-2)	< 1回/サイクル	海水を用いた復水タンクへの補給 <240時間/2サイクル 燃料取替用水タンク <1時間/2サイクル 復水タンク <72時間/2サイクル	

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考	
		予防可能故障回数 目 標 値	非待機時間 目 標 値		
重大事故等対処設備	電源設備 (SA-2)	<1回/サイクル	空冷式非常用発電装置、電源車 <720時間/2サイクル 蓄電池 — 可搬式整流器 <240時間/2サイクル 代替所内電気設備 <72時間/2サイクル 燃料油貯蔵タンク、タンクローリー、燃料油移 送ポンプ <48時間/2サイクル		
	計装設備 (一)	<2回/サイクル	記録以外 <720時間/2サイクル 記録 —		
	中央制御室 (SA-2)	<1回/サイクル	中央制御室非常用循環系 <72時間/2サイクル 可搬型照明 (SA)、酸素濃度計、二酸化炭素濃度計 <240時間/2サイクル		
	監視測定設備 (SA-2)	<1回/サイクル	—		
	緊急時対策所 (SA-2)	<1回/サイクル	電源車 (緊急時対策所用) <240時間/2サイクル 居住性 (緊急時対策所エリアモニタ) 居住性 (緊急時対策所エリアモニタ以外) <240時間/2サイクル		
	通信連絡を行うために必要な設備 (SA-2)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル		
	その他の設備 (一)	<2回/サイクル	<240時間/2サイクル		

添付書類三 施設管理の実施に関する計画

目 次

1. 施設管理実施計画の始期（定期事業者検査の開始する日をいう。）及び期間・・・ 1
2. 発電用原子炉施設の工事の方法及び時期・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
3. 発電用原子炉施設の点検、検査等の方法、実施頻度及び時期・・・・・・・・ 3
4. 発電用原子炉施設の工事及び点検等を実施する際に行う保安の確保のための措置・・ 3

別紙：点検計画（第26保全サイクル）

別図：定期事業者検査時の安全管理の計画

別表：長期施設管理方針実施状況総括表

1. 施設管理実施計画の始期（定期事業者検査の開始する日をいう。）及び期間

本保全計画の適用期間は、第26回定期事業者検査開始日から第27回定期事業者検査開始日の前日までの期間（第26回定期事業者検査終了日以降13ヶ月までの間（※））とし、以降、この期間を第26保全サイクルという。

ただし、この期間内に第27回定期事業者検査を開始した場合には、その前日までの期間とする。

※：第26回定期事業者検査終了日以降13ヶ月までの間を『実運転期間』という。

2. 発電用原子炉施設の工事の方法及び時期

(1) 工事の計画

a. 特定重大事故等対処施設設置工事：設計及び工事の計画認可

○工事概要

原子炉建屋への故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムに対してその重大事故等に対処するために必要な機能を有した特定重大事故等対処施設を設置する。

○予定時期

第26回定期事業者検査期間中（完了予定：2022年7月）

b. 所内常設直流電源設備（3系統目）設置工事

○工事概要

重大事故等の対応に必要な設備に電気の供給を行うことが可能であるもう1系統の特に高い信頼性を有する所内常用直流電源設備を設置する。

○予定時期

第26回定期事業者検査期間中

c. 火災感知器追加設置工事

○工事概要

新火災防護基準バックフィット対応として、火災区域に対し、異なる種類の火災感知器を消防法に準じた箇所に設置する。

○予定時期

第26回定期事業者検査期間中（完了予定：第27回定期事業者検査期間中）

d. 非常用ディーゼル発電機受電遮断器高エネルギーアーク損傷対策工事

: 設計及び工事の計画認可

○工事概要

高エネルギーアーク損傷に係る実用発電用原子炉及びその附属設備の技術基準に関する規則等の一部改正に伴い、非常用ディーゼル発電機に保護リレーの追加等を行う。

○予定時期

第26回定期事業者検査期間中

e. 電気ペネトレーション改良工事: 設計及び工事の計画認可

○工事概要

原子炉格納容器電気配線貫通部のうち、キャニスタ型の三重同軸型電気ペネトレーションについて、モジュラー型電気ペネトレーションに取り替える。

○予定時期

第26回定期事業者検査期間中

f. 廃液蒸発装置濃縮液配管他取替工事: 設計及び工事の計画認可

○工事概要

塩化物イオンによる応力腐食割れ対策として、液体廃棄物処理系統配管を取り替える。

○予定時期

第26回定期事業者検査期間中

g. A 所内変圧器取替工事

○工事概要

予防保全対策としてコイル絶縁性能が経年劣化傾向にある所内変圧器について、取り替えを行う。

○予定時期

第26回定期事業者検査期間中

h. 格納容器サンプ水位伝送器取替工事

○工事概要

製造中止に伴い、格納容器サンプ水位伝送器を浮力式から差圧式に取り替える。

○予定時期

第26回定期事業者検査期間中

3. 発電用原子炉施設の点検、検査等の方法、実施頻度及び時期

(1) 点検計画

定期事業者検査中及びプラント運転中の点検について、あらかじめ保全方式を設定し、点検の方法並びにそれらの実施頻度及び時期を定めた点検計画を「美浜発電所 保守業務所則（平成15美原保所則 第2号）」に基づき策定した「保全指針」に従い策定した。また、土木建築に関する設備の点検計画については、「美浜発電所 土木建築業務所則（平成19美原土所則 第1号）」に従い策定した。

点検計画のうち、定期事業者検査対象機器等に係る主要な点検の計画に基づく点検計画を別紙に記載する。

附帯設備も含めた各機器の詳細な点検計画は、「保全指針」等に規定している。

点検計画を策定又は変更するにあたっては、保全活動から得られた情報等から、保全の有効性を評価し、保全が有効に機能していることを確認するとともに、継続的な改善につなげている。なお、保全の有効性評価は、以下の情報を適切に組み合わせて行った。

- ・保全活動管理指標の監視結果
- ・保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績
- ・トラブルなど運転経験
- ・定期安全レビュー結果
- ・他プラントのトラブル及び経年劣化傾向に係るデータ
- ・リスク情報、科学的知見

4. 発電用原子炉施設の工事及び点検等を実施する際に行う保安の確保のための措置

定期事業者検査に伴う停止時における保安規定の運転上の制限を遵守するための計画は、別図のとおりである。また、定期事業者検査以外の安全上重要な保守点検活動並びに留意事項等については、特になし。

点 検 計 画
(第 2 6 保 全 サ イ ク ル)

点検計画の記載について

1. 点検計画については以下の方針に従い記載している。

(1) 記載している設備について

点検計画には発電所設備の主要機器として、以下設備を対象に記載している。

①核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の14に規定する技術基準が適用される設備

a. 定期事業者検査の対象となる設備

b. 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則別表第2において、設計及び工事計画に記載が要求されている設備

なお、設計及び工事の計画において仕様が記載されていない設備については、日常の管理の中で健全性が確認でき、かつ、取替が可能な下記のものについて除外する。

(a) 防保護具、現地操作時に用いる工具類

(b) 一般消耗品（電池類他）

(c) 一般産業品（可搬型照明、電話・ファクシミリ他）

② 保全の重要度が高い設備

保全重要度が高い設備とは、以下の設備を指す。

a. 安全機能の重要度が高い設備

b. 供給信頼性重要度が高い設備

c. リスク重要度が高い設備

なお、アクシデントマネジメント（AM）対応設備であることにより、保全の重要度を「高」とした設備については、点検計画において「AM（対応するアクシデントマネジメント名）機器」として明示している。

(2) 記載している点検について

点検計画には上記設備の主要な点検として、以下を記載している。

・ 定期事業者検査に係る点検

・ 定期事業者検査の都度性能維持のための措置を伴う点検

・ 定期事業者検査に係る点検の実施頻度より短い実施頻度で行う性能維持のための措置を伴う点検

・ 記載対象設備において、上記に該当する点検が無い設備については主要な点検

上記以外の点検（主要機器の上記条件以外の点検や附帯設備^{※1}の点検等）については、「美浜発電所 保守業務所則（平成15美原保所則 第2号）」に基づき策定した「保全指針」及び「美浜発電所 土木建築業務所則（平成19美原土所則 第1号）」に定めている。

※1：附帯設備の例

〔 潤滑油、潤滑水、シール水、冷却設備、電源、制御回路、オリフィス、
レデューサ、フローグラス 等 〕

(3) 保全の重要度について

「グレード分け通達（平成18原品証通達第2号）」等の考え方に従い、「高」又は「低」のいずれかで表記している。

なお、重要度「高」及び定期事業者検査対象の設備については、保全方式として予防保全（時間基準保全、状態基準保全）を選定、事後保全は選定していない。

(4) 保全方式について

保全方式について以下のとおり記載している。

- ・時間基準保全を採用しているもの：点検頻度
- ・状態基準保全を採用しているもの：CBM
- ・事後保全を採用しているもの：BM

(5) 点検頻度について

次の整理により「F」：保全サイクル、「M」：月、「Y」：年で表記している。

- ・性能維持のための措置を伴う点検及びそれに伴い実施する点検については、「M」又は「Y」により表記している。なお、記載した頻度のうち「M」は、運転期間（総合負荷性能検査～解列）に応じた値を示している。また、複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、その点検頻度の最短及び最長のものを記載している。
- ・供用期間中検査のように年度管理するものについては、「Y」により表記している。
- ・機器の分解点検時期に合わせて実施する機能・性能試験については、「B」により表記している。また、その他、性能維持のための措置を伴わない点検のうち、分解・開放点検等の性能維持のための措置を伴う点検と合わせて実施するものについても「B」※2表記している。なお、回転機器（ポンプ、ファン等）等、本体と駆動部で構成される機器は、一方が分解点検を実施した場合においても、その後の機能・性能試験で本体と駆動部の機能・性能を確認する。
- ・これ以外で性能維持のための措置を伴わない点検については、「F」※2により表記している。また、性能維持のための措置を伴わない点検であっても、当該点検がプラント運転期間中の発電用原子炉施設の保安の確保に支障がなく、年度管理するものについては、「Y」により表記している。
- ・このほか肉厚管理指針に従い管理する肉厚測定は、検査箇所ごとの管理となるため、本表では“肉厚管理指針による”と表記している。
- ・機能・性能試験の結果等を踏まえて適宜実施する点検については、「X」により表記している。

※2：「B」、「F」により表記しているものは、基本的に性能維持のための措置を予定していない点検であり、劣化進展がごく軽微なため、分解・開放点検や定期事業者検査停止時期に合わせた実施管理が適しているものを対象にしている。

(6) 点検時期について

- ・時間基準保全の点検については、“定期事業者検査起動後”、“プラント運転中”の表現により、備考欄に実施時期を記載している。なお、これらの記載のないものについては、定期事業者検査停止中に実施することとしている。
- ・プラント停止（定期事業者検査）に先立ち、プラント運転中に実施する定期的な点検を「先行実施」とし、その対象設備は備考欄に明記し、区別する。

(7) 状態監視方法の記載について

- ・保全方式として状態基準保全を用いる機器については、経年劣化事象等による劣化の有無・劣化の傾向を監視する方法（状態監視技術、定例試験、巡視点検等）及びその頻度を備考欄に記載している。
- ・保全方式として時間基準保全を採用している機器については、保全をより充実する観点で採用している状態監視技術について方法・頻度を備考欄に記載している。
- ・状態監視技術のうち振動診断の頻度については、年度におけるデータ採取回数を「M」表示となるよう平均し記載している。

なお、第26保全サイクル中に点検を計画するものについては、「点検計画」に「○」^{※3}を記載している。

また、「点検計画」には、当該点検の前回実績（実施時期）^{※4}も記載している。

※3：複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、本保全サイクルの中に一つでも点検の計画があれば「○」としている。

※4：複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目にあつては、最新実績を記載している。

点検計画 目次

機器又は系統名	ページ
原子炉本体	1/41
【炉心】	
【原子炉容器】	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	1/41
【燃料取扱設備】	
【使用済燃料貯蔵設備】	
【使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備】	
【燃料取替用水設備】	
原子炉冷却系統施設	3/41
【一次冷却材の循環設備】	
【主蒸気・主給水設備】	
【余熱除去設備】	
【非常用炉心冷却設備】	
【化学体積制御設備】	
【蒸気タービンの附属設備】	
【原子炉補機冷却設備】	
【原子炉補機冷却海水設備】	
【原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置】	
計測制御系統施設	11/41
【制御材】	
【制御棒駆動装置】	
【ほう酸注入機能を有する設備】	
【工学的安全施設等の作動信号】	
【制御用空気設備】	
【その他設備】	
放射性廃棄物の廃棄施設	14/41
【気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備】	
【気体、液体又は固体廃棄物処理設備】	
【原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置】	
放射線管理施設	19/41
【放射線管理用計測装置】	
【換気設備】	
【生体遮蔽装置】	
【その他設備】	

機器又は系統名	ページ
原子炉格納施設	27/41
【原子炉格納容器】	
【圧力低減設備その他の安全設備】	
原子力設備	31/41
【その他設備】	
原子力設備・タービン設備	31/41
【その他設備】	
蒸気タービン	32/41
【車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸】	
【调速装置及び非常调速装置並びに调速装置で制御される主要弁】	
【復水器】	
【蒸気タービンに附属する熱交換器】	
【蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備】	
【蒸気タービンに附属する管等】	
【その他設備】	
その他発電用原子炉の附属施設	38/41
【補助ボイラー】	
【非常用電源設備】	
【常用電源設備】	
【火災防護設備】	
【浸水防護設備】	
【補機駆動用燃料設備】	
【非常用取水設備】	
土木建築設備	41/41
プラント総合	41/41
全般機器	41/41

- 別表-1：クラス1 機器供用期間中検査7年計画
 別表-2：クラス2 機器供用期間中検査10年計画
 別表-3：クラス3 機器供用期間中検査10年計画
 別表-4：クラス1 機器N i 基合金使用部位特別検査7年計画
 別表-5：クラス2 管（原子炉格納容器内）特別検査7年計画
 別表-6：原子炉格納容器供用期間中検査10年計画
 別表-7：重大事故等クラス2 機器供用期間中検査10年計画
 別表-8：重大事故等クラス3 機器供用期間中検査10年計画
 別表-9：クラス1 配管特別検査計画

1. 点検計画

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備(診断技術)	
原子炉本体 [炉心]	照射燃料集合体	※1式	高	1F	○	25回	燃料集合体外観検査	※炉心設計による	
	照射燃料集合体 (取出燃料)	※1式	高	1F	○	25回		※炉心設計による	
	1. 燃料集合体 2. 内挿物 (1) 制御棒クラスター (2) パーナナブルボイスン (3) フラギングデバイス (4) 2次中性子源	1. 外観点検 (炉内配置)	高	1F	○	25回	燃料集合体炉内配置検査		
		1. 外観点検 (炉内配置)	高	1F	○	25回	燃料集合体炉内配置検査	※炉心設計による	
		1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	原子炉停止系総検査 炉物理検査	定期事業者検査起動後	
		1. 開放点検	高	13M	○	25回			
	原子炉容器								
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取扱設備]	燃料移送装置	1. 機能・性能試験 (17インチ・フルス)	高	1F	○	25回	燃料取扱装置機能検査	
			2. 機能・性能試験		1F	○	25回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	
			3. 簡易点検 (点検手入)		13M	○	25回		先行実施 (A/B側)
燃料取扱クレーン		1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	燃料取扱装置機能検査		
		2. 機能・性能試験		1F	○	25回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)		
		3. 簡易点検 (点検手入)		13M	○	25回		先行実施	
燃料ピットクレーン		1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	燃料取扱装置機能検査		
		2. 機能・性能試験	高・低	1F	○	25回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)		
		3. 簡易点検 (点検手入)		13M	○	25回		先行実施	
新燃料エレベータ		1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	燃料取扱設備検査		
	2. 機能・性能試験		1F	○	25回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)			
	3. 簡易点検 (点検手入)		13M	○	25回		年次点検		
補助建屋クレーン	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	燃料取扱設備検査			
	2. 機能・性能試験		1F	○	25回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)			
	3. 簡易点検 (点検手入)		1Y	○	25回				
燃料取扱工具	1. 外観点検	低	1F	○	25回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	先行実施		
	1. 外観点検	高	1F	○	25回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)			
	1. 分解点検他	高	13M~169M	○	25回				
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取扱設備] その他機器	1. 分解点検他	低	65M~169M	○	25回				
	1. 外観点検	低	B※	—	25回	燃料取扱設備検査 (使用済燃料取扱工具)	※：使用の都度 (前) 実施 先行実施		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【使用済燃料貯蔵設備】	使用済燃料ピット温度	1. 特性試験	高	13M	○	25回	計測制御系監視機能検査		
	使用済燃料ピット水位	1. 特性試験	高	13M	○	25回	計測制御系監視機能検査		
	可燃物使用済燃料ピット水位	2台	高	13M	○	—	25回施設検査時に設置		
	使用済燃料ピット温度 (AM用)	1台	高	13M	○	—	プラント状態監視設備機能検査		
	使用済燃料ピット温度 (広域)	1台	高	13M	○	—	プラント状態監視設備機能検査		
	使用済燃料ピットエリア監視カメラ	1台	高	13M	○	—	計測制御系監視機能検査		
	使用済燃料ピットエリア監視カメラ	2台	高	13M	○	—	可搬型重大事故等対処設備機能検査		
	使用済燃料ピット浄化冷却設備	1式	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機) 2. 分解点検 (電動機)	低	1F	○	25回		使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査
	A 燃料ピットポンプ・電動機		1. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機)	高	130M 130M	— —	25回 25回		先行実施 (振動診断: 6M) (メカ測定: 1F) 保全の有効性評価結果No. 1の反映 (電動機)
	B 燃料ピットポンプ・電動機		3. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ) 1. 分解点検 (電動機) 2. 分解点検 (電動機)	高	130M 130M	— —	25回 25回		先行実施 (振動診断: 6M) (メカ測定: 1F) 保全の有効性評価結果No. 1の反映 (電動機)
送水車	3台	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	—	可搬型重大事故等対処設備機能検査		
大容量ポンプ (放水砲用)	1台	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	—	可搬型重大事故等対処設備機能検査		
燃料ピットフイタ		2. 外観点検	高	10Y	—	—	25回施設検査時に設置		
A 燃料ピットクローラ		1. 開放点検	高	130M	—	25回	先行実施		
B 燃料ピットクローラ		1. 開放点検	低	195M	—	25回	先行実施		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備】 その他の弁	1式	1. 開放点検	高・低	104M~260M	○	25回	先行実施 先行実施		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備】 その他機器	1式	2. 簡易点検 (グラウンドバックスキン取替) 1. 分解点検他	高	130M	○	21回			
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【燃料取替用水設備】	A 燃料取替用水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機)	高	B※ 130M 52M	— — —	24回 24回 25回	1 次系ポンプ機能検査	一部BMあり 一部先行実施 (振動診断【燃料ピットスキマポンプ、燃料ピットスキマポンプ用電動機】: 3M)	
	B 燃料取替用水ポンプ・電動機	1. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ) 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機)	高	13M	○	25回	1 次系ポンプ機能検査	先行実施 (振動診断: 6M) (メカ測定: 1F) B※: ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施	
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【燃料取替用水設備】 その他の弁	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ) 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機)	高	B※ 130M 52M	○ — —	25回 21回 25回	1 次系ポンプ機能検査	先行実施 (振動診断: 6M) B※: ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施	
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【燃料取替用水設備】 その他の弁	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・低	13M	○	25回	1 次系ポンプ機能検査	先行実施 (振動診断: 6M) B※: ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施	
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【燃料取替用水設備】 その他の弁	3. 簡易点検 (グラウンドバックスキン取替) 1. 分解点検他	高	B 39M~195M	○	25回	1 次系安全弁検査 1 次系真空破壊弁検査 1 次系逆止弁検査 1 次系弁検査		
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【燃料取替用水設備】 その他機器	1. 分解点検他	高	130M~195M	—	22回			
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【燃料取替用水設備】 その他機器	1. 分解点検他	高	13M~195M	○	25回			
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【燃料取替用水設備】 その他機器	1. 分解点検他	低	52M~169M	○	24回		一部BMあり	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	A 蒸気発生器	伝熱管 3379本	高	26M	○	24回	蒸気発生器伝熱管体積検査		
		1. 開放点検	高	13M	○	25回			
		2. 簡易点検 (スラッジランシング)	高	13M	○	25回			
		マンホール	高	13M	○	25回			
		1. 簡易点検 (ガスケット取替他)	高	26M	○	24回	蒸気発生器伝熱管体積検査		
		3382本	高	13M	○	25回			
		2. 簡易点検 (スラッジランシング)	高	13M	○	25回			
	B 蒸気発生器	マンホール	高	13M	○	25回			
		1. 簡易点検 (ガスケット取替他)	高	26M	—	25回	蒸気発生器伝熱管体積検査		
		3382本	高	13M	○	25回			
		1. 開放点検	高	13M	○	25回			
		2. 簡易点検 (スラッジランシング)	高	13M	○	25回			
		マンホール	高	13M	○	25回			
		1. 簡易点検 (ガスケット取替他)	高	26M	—	25回	蒸気発生器伝熱管体積検査		
	C 蒸気発生器	3個	1. 機能・性能試験 2. 漏えい試験 3. 分解点検	高	1F B	○ ○	25回 25回	加圧器安全弁機能検査 加圧器安全弁漏えい検査 加圧器安全弁分解検査	
		2個	1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	1F	○	25回	加圧器逃がし弁機能検査	
		3FCV-445	1. 漏えい試験	高	1F	○	25回	加圧器逃がし弁漏えい検査	
		3FCV-444A	2. 分解点検	高	26M	○	25回	加圧器逃がし弁分解検査	
		2個	1. 漏えい試験	高	13M	○	25回	加圧器逃がし弁漏えい検査	
		2個	1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	1F	○	25回	加圧器逃がし弁機能検査	
		330V-8000A	2. 簡易点検 (グラウンドバックスキン取替)	高	130M 65M	— —	25回 25回		
加圧器逃がし弁駆動部 加圧器逃がし弁入口止弁	330V-8000B	1. 分解点検 (グラウンドバックスキン取替)	高	130M 65M	— —	25回 25回			
	2個	1. 分解点検	高	156M	—	25回	1次冷却材ポンプ機能検査	一部定期事業者検査起動後	
	2個	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回			
	330V-8000A	2. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	23回			
	3. 分解点検 (メカニカルシール)	高	13M	○	25回		1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査		
	330V-8000B	4. 分解点検 (フライホイール)	高	104M	○	23回			
	5. 分解点検 (軸受点検)	高	52M	○	23回				
加圧器逃がし弁駆動部 A 冷却材ポンプ・電動機	6. 分解点検 (全分解)	高	104M	○	23回				
	7. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	13M	○	25回				
	2個	1. 分解点検 (電動機)	高	13M	○	25回			
	2個	1. 機能・性能試験	高	156M	—	25回	1次冷却材ポンプ機能検査	一部定期事業者検査起動後	
	330V-8000A	2. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	23回			
	330V-8000B	3. 分解点検 (メカニカルシール)	高	13M	○	25回	1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査		
	2個	4. 分解点検 (フライホイール)	高	104M	○	23回			
2個	5. 分解点検 (軸受点検)	高	52M	○	23回				
2個	6. 分解点検 (全分解)	高	104M	○	23回				
2個	7. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	13M	○	25回				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	B. 冷却材ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	1次冷却材ポンプ機能検査	一部定期事業者検査起動後	
		2. 分解点検 (ポンプ)		130M	—	25回			
		3. 分解点検 (メカニカルシール (ポンプ))		13M	○	25回	1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査		
		4. 分解点検 (フライホイール (電動機))		104M	○	18回			
		5. 分解点検 (軸受点検) (電動機)		52M	○	22回			
		6. 分解点検 (全分解) (電動機)		104M	○	18回			
		7. 簡易点検 (潤滑油入替他) (電動機)		13M	○	25回			
		1. 機能・性能試験		1F	○	25回	1次冷却材ポンプ機能検査		一部定期事業者検査起動後
		2. 分解点検 (ポンプ)		7Y	—	25回			
		3. 分解点検 (メカニカルシール (ポンプ))		13M	○	25回	1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査		
		4. 分解点検 (フライホイール (電動機))		104M	○	21回			
		5. 分解点検 (軸受点検) (電動機)		52M	○	25回			
		6. 分解点検 (全分解) (電動機)		104M	○	21回			
		7. 簡易点検 (潤滑油入替他) (電動機)		13M	○	25回			
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備] その他の弁	加圧器	1. 開放点検	高	13M	○	25回			
		2. 簡易点検 (マンホールガスクケット取替)		13M	○	25回			
		1. 機能・性能試験		B	—	25回	1次系弁検査		
		2. 分解点検		26M~280M	○	25回	1次系逆止弁検査 1次系弁検査		
		3. 簡易点検 (グラウンドパッキン取替)		26M~195M	—	25回			
		1. 機能・性能試験		B	○	25回	1次系弁検査		
		2. 分解点検		13M~65M	○	25回			
		3. 簡易点検 (特性点検)		13M~65M	○	25回			
		1. 分解点検他		13M~195M	○	25回			
		1. 分解点検他		39M~195M	○	25回			
		1. 機能・性能試験		1F	○	25回	主蒸気安全弁機能検査		
		2. 漏えい試験		B	○	25回	主蒸気安全弁漏えい検査		
		3. 分解点検		26M	○	25回			
		原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備] 主蒸気安全弁		3MS-521A 3MS-521B 3MS-521C 3MS-522A 3MS-522B 3MS-522C 3MS-523A 3MS-523B 3MS-523C 3MS-524A 3MS-524B 3MS-524C	1. 機能・性能試験	高	1F		○
2. 漏えい試験	B		○		25回		主蒸気安全弁漏えい検査		
3. 分解点検	26M		○		25回				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)					
原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備]	主蒸気安全弁	1.機能・性能試験	高	IF	○	25回	主蒸気安全弁機能検査						
		2.漏えい試験							B	25回	主蒸気安全弁漏えい検査		
		3.分解点検							26M	25回			
	主蒸気速がし弁	3個	1.機能・性能試験 (駆動部含む)	高	IF	○	25回	主蒸気速がし弁機能検査 最終ヒートシントリング熱輸送設備作動検査は25回施設定期検査より追加					
			2.漏えい試験							B	25回	主蒸気速がし弁漏えい検査	
			3.分解点検							13M	25回		
	主蒸気速がし弁駆動部	3個	1.分解点検	高	13M	○	25回						
			2.分解点検							13M	25回		
	主蒸気隔離弁	3個	1.機能・性能試験 (駆動部含む)	高	IF	○	25回	主蒸気隔離弁機能検査					
			2.分解点検							26M	25回	2次系弁検査	
	主蒸気隔離弁駆動部	3個	1.分解点検	高	26M	○	25回						
			2.簡易点検 (特性点検)							13M	25回		
	タービンバイパス弁	8個	1.機能・性能試験 (駆動部含む)	高	IF	○	25回	タービンバイパス弁機能検査					
			2.分解点検							52M	25回		
	タービンバイパス弁駆動部	8個	1.分解点検	高	52M	○	25回						
2.簡易点検 (特性点検)			13M							25回			
原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] その他の弁	1式	1.機能・性能試験	高	B	○	25回	2次系弁検査 2次系安全弁検査						
		2.分解点検							39M~195M	25回	2次系弁検査		
		3.簡易点検 (グラウンドバッキング取替)							65M~195M	25回			
原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] その他の弁駆動部	1式	1.機能・性能試験	高	B	-	25回	2次系弁検査						
		2.分解点検							52M~156M	25回			
		3.簡易点検 (特性点検)							13M	25回			
原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] その他機器	1式	1.分解点検他	高	13M~260M	○	25回	1次系ポンプ機能検査 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査						
		1.分解点検他							39M~260M	25回	一部BMあり		
		1.機能・性能試験							B	25回	(振動診断「電動機」:IM) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は25回施設定期検査より追加		
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備]	A余熱除去ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B	-	25回	1次系ポンプ機能検査						
		2.分解点検 (ポンプ)							78M	25回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査		
		3.分解点検 (電動機)							78M	23回			
	B余熱除去ポンプ・電動機	4.簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	1.機能・性能試験	高	26M	-	25回	1次系ポンプ機能検査					
										2.分解点検 (ポンプ)	B	25回	(振動診断「電動機」:IM) その他原子炉注水系ポンプ分解検査
										3.分解点検 (電動機)	78M	25回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査
		4.簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	1.機能・性能試験	高	78M	-	25回	1次系ポンプ機能検査					
										2.分解点検 (電動機)	78M	25回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査
										3.分解点検 (電動機)	26M	25回	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定機回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 【余熱除去設備】	A 余熱除去クローラ	1. 開放点検	高	130M	—	25回	1次系熱交換器検査		
		2. 非破壊試験	高	130M	—	25回	1次系熱交換器検査		
		1. 開放点検	高	130M	—	25回	1次系熱交換器検査		
		2. 非破壊試験	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査		
		3V-8935A	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回実施定期検査より追加
		3V-8935B	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回実施定期検査より追加
	B 余熱除去クローラ	3V-8973A	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回実施定期検査より追加
		3V-8973B	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回実施定期検査より追加
		3V-8973C	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回実施定期検査より追加
		1式	1. 機能・性能試験	高	B	—	25回	1次系安全弁検査	
		原子炉冷却系統施設 【余熱除去設備】 その他の弁	2. 分解点検		39M～195M	○	25回	1次系弁検査	
		3. 簡易点検 (ブランドパッキン取替)		52M～195M	○	25回	1次系弁検査		
原子炉冷却系統施設 【余熱除去設備】 その他の機器	A 充てん/高圧注入ポンプ・電動機	1式	高	B	—	25回	1次系弁検査		
		2. 分解点検		52M～156M	—	25回			
		3. 簡易点検 (特性点検)		13M	○	25回			
		1. 分解点検他	高	78M～195M	○	25回			
		1. 分解点検他	低	26M～52M	—	24回		一部BMあり	
		1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、弁駆動部 等含む)	高	1F	○	25回		非常用炉心冷却系機能検査 その他原子炉注入系機能検査	その他原子炉注入系機能検査は25 回実施定期検査より追加
	B 充てん/高圧注入ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	117M	—	25回		非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注入系ポンプ分解検査	(振動診断：3M) 査は25回実施定期検査より追加
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	25回			
		3. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	25回			
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M	—	25回			
		1. 分解点検 (ポンプ)	高	117M	—	25回		非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注入系ポンプ分解検査	(振動診断：3M) 査は25回実施定期検査より追加
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	25回			
C 充てん/高圧注入ポンプ・電動機	3. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	25回				
	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M	○	25回				
	1. 分解点検 (ポンプ)	高	117M	—	25回		非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注入系ポンプ分解検査	(振動診断：3M) 査は25回実施定期検査より追加	
	2. 分解点検 (電動機)		78M	—	25回				
	3. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	25回				
	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M	—	25回				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備(診断技術)		
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	高圧注入系主要弁	3MOV-8803A	高	65M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加		
		3MOV-8803B	高	65M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加		
		3MOV-8801A	高	130M	—	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加		
		3MOV-8801B	高	130M	—	19回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加		
		3LCV-115D	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加		
		3LCV-115E	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加		
		3V-8937A	高	260M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査			
		3V-8937B	高	260M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査			
		3V-8937C	高	260M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査			
		3V-8939A	高	260M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査			
		3V-8939B	高	260M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査			
		3V-8939C	高	260M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査			
		3V-8940A	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査			
		3V-8940B	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査			
		3V-8940C	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査			
		3V-8942A	高	260M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査			
		3V-8942C	高	260M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査			
		3V-8944A	高	260M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査			
		3V-8944B	高	260M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加		
		3V-8944C	高	260M	—	24回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加		
		3V-8945A	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加		
		3V-8945B	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加		
		3V-8945C	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加		
		1式	2.簡易点検 (ツラントバッキン取替) 1.分解点検	高	65M~130M	—	25回			
		1式	1.分解点検	高	156M	—	22回			
		高圧注入系主要弁駆動部 蓄圧注入系	蓄圧注入系	1.機能・性能試験 (弁駆動部含む)	高	1F	○	25回	非常用炉心冷却系機能検査 その他原子炉注水系機能検査	その他原子炉注入系機能検査は25回施設定期検査より追加
				3MOV-8808A	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加
				3MOV-8808B	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加
				3MOV-8808C	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加
				3V-8948A	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加
				3V-8948B	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加
				3V-8948C	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加
				3V-8948D	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加
3V-8948E	高			130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加		
3V-8948F	高			130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	蒸圧注入系主要弁	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は25回実施定期検査より追加	
		1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は25回実施定期検査より追加	
		1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は25回実施定期検査より追加	
	蒸圧注入系主要弁駆動部	1式	3. 簡易点検 (グラウンドバッキン取替)	高	65M	—	25回		
			1. 分解点検	高	150M	—	25回		
			1. 開放点検	高	130M	—	24回		
	Aアキユムレータ	1式	1. 開放点検	高	130M	—	24回		
			1. 開放点検	高	130M	—	24回		
			1. 開放点検	高	130M	—	22回		
	燃料取替用水タンク	1式	1. 開放点検	高	130M	—	25回		
			1. 外観点検	高	1F	○	25回		
			1. 外観点検	高	10Y	—	25回	原子炉格納容器再循環サンブスクリーン検査	原子炉格納容器再循環サンブスクリーン検査は25回実施定期検査より追加
	原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	25回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	
			2. 分解点検		39M~240M	○	25回	1次系安全弁検査 1次系弁検査	
			3. 簡易点検 (グラウンドバッキン取替)		52M~195M	○	25回	1次系弁検査	
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	25回	1次系弁検査		
		2. 分解点検		52M~156M	○	25回			
		3. 簡易点検 (特許点検)		52M	○	25回			
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他機器	1式	1. 分解点検他	高	78M~195M	○	25回		(振動診断「ブゲル」高圧注入ポンプ補助ポンプ用電動機, 充てん/高圧注入ポンプ増速機) : 3M	
		1. 分解点検他	低	13M~195M	○	25回		一部BMあり 一部先行実施	
		1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	その他原子炉注水系機能検査	[対象設備] A, B低圧注入系 A, B高圧注入系 B高圧注入系 (海水冷却) A, B, C充てん系 (自己冷却) C充てん系 (自己冷却) 25回実施定期検査より追加	
恒設代替低圧注入系	1台	1. 機能・性能試験 (ポンプ・電動機含む)	高	1F	○	—		25回実施検査時に設置	
		1. 試運転	高	26M	○	—		25回実施検査時に設置 (振動診断: 1M)	
		2. 分解点検 (ポンプ)		130M	—	—		原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	
		3. 分解点検 (電動機)		130M	—	—			
原子炉下部キャビティ注水ポンプ・電動機	1台	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	—			
		1. 試運転	高	26M	—	—		25回実施検査時に設置 (振動診断: 1M)	
		2. 分解点検 (ポンプ)		130M	—	—		原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	
		3. 分解点検 (電動機)		130M	—	—			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 (○)内は適用する設備診断技術)		
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	可搬式代替低圧注水ポンプ・電動機 3台	1.機能・性能試験	高	1Y	○	—	可搬型重大事故等対策設備機能検査	25回施設稼働時設置		
		2.作動確認		3M	○	—				
		3.分解点検 (ポンプ)		10Y	—	—				
		4.潤滑油補給 (電動機)		1Y	○	—				
原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備]	化学体積制御系 体積制御タンク	1.機能・性能試験	高	1F	○	25回	化学体積制御系機能検査	定期事業者者検査起動後		
		1.開放点検	高	130M	—	25回				
		1.開放点検 (ガスケット取替含む)	高	130M	—	23回				
		2.非破壊試験		130M	—	23回				
原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備]	1式	1.機能・性能試験	高	B	○	25回	1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査	保全の有効性評価結果No.2の反映		
		2.分解点検	高・低	13M~260M	○	25回				
		3.簡易点検 (フランドパッキン取替)		13M~195M	○	25回				
		1.機能・性能試験	高	B	○	25回				
		2.分解点検		52M~156M	○	25回				
		3.簡易点検(特性点検)		13M~78M	○	25回				
		1.分解点検他	高	26M~195M	○	25回				
		1.分解点検他	低	26M~195M	○	25回				
		1.機能・性能試験 (ポンプ、電動機、 弁駆動部等含む)	高	1F	○	25回			補助給水系機能検査	一部先行実施 一部3BMあり
		1.分解点検(ポンプ)	高	52M	—	25回				
2.分解点検(電動機)		78M	—	25回	補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断：1M)				
3.簡易点検 (潤滑油入替他)(ポンプ)		13M	○	25回			補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断：1M)		
4.簡易点検 (潤滑油入替)(電動機)		26M	—	25回	補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断：1M)				
1.分解点検(ポンプ)	高	52M	—	25回			補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断：1M)		
3.簡易点検 (潤滑油入替他)(ポンプ)		78M	—	25回	補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断：1M)				
4.簡易点検 (潤滑油入替)(電動機)		13M	○	25回			補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断：1M)		
1.機能・性能試験 (ポンプ)	高	26M	○	25回	補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断：1M)				
2.分解点検(潤滑油入替)	高	B	—	25回			補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断：1M)		
3.簡易点検(潤滑油入替)		52M	—	25回	補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断：1M)				
1.機能・性能試験	高	B	—	25回			補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断：1M)		
2.分解点検 (フランドパッキン取替)		52M~130M	○	25回	補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断：1M)				
3.簡易点検 (フランドパッキン取替)		195M	○	25回			補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断：1M)		
1.機能・性能試験	高	B	—	25回	補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断：1M)				
2.分解点検		52M	—	25回			補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断：1M)		
3.簡易点検(特性点検)		13M	○	25回	補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断：1M)				
1.分解点検他	高	91M~260M	○	25回			補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断：1M)		
1.分解点検他	低	65M~195M	○	25回	補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断：1M)				
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備]	タービン駆動補助給水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 (ポンプ)	高	1F			○	25回	補助給水系機能検査	一部先行実施 一部3BMあり
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備]	A 電動補助給水ポンプ・電動機	1.分解点検(ポンプ)	高	52M	—	25回	補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断：1M)		
		2.分解点検(電動機)		78M	—	25回				
		3.簡易点検 (潤滑油入替他)(ポンプ)		13M	○	25回				
		4.簡易点検 (潤滑油入替)(電動機)		26M	—	25回				
		1.分解点検(ポンプ)	高	52M	—	25回				
		3.簡易点検 (潤滑油入替他)(ポンプ)		78M	—	25回				
		4.簡易点検 (潤滑油入替)(電動機)		13M	○	25回				
		1.機能・性能試験 (ポンプ)	高	26M	○	25回				
		2.分解点検(潤滑油入替)	高	B	—	25回				
		3.簡易点検(潤滑油入替)		52M	—	25回				
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備]	B 電動補助給水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B	—	25回	補助給水系機能検査	(振動診断：1M)		
		2.分解点検(潤滑油入替)		52M	—	25回				
		3.簡易点検(潤滑油入替)		13M	○	25回				
		1.機能・性能試験	高	B	—	25回				
		2.分解点検 (フランドパッキン取替)		52M~130M	○	25回				
		3.簡易点検 (フランドパッキン取替)		195M	○	25回				
		1.機能・性能試験	高	B	—	25回				
		2.分解点検		52M	—	25回				
		3.簡易点検(特性点検)		13M	○	25回				
		1.分解点検他	高	91M~260M	○	25回				
1.分解点検他	低	65M~195M	○	25回						

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定機回次)	検査名	備考 (○)内は適用する設備(診断技術)
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却設備]	原子炉補機冷却系	1.機能・性能試験(弁駆動部等含む) 1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替)(ポンプ)	高	1F	○	25回	原子炉補機冷却系機能検査	
	A-1次系冷却水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機)	高	B 78M 130M	— — —	25回 25回 25回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断:40) 保全の有効性評価結果No.4の反映 (ポンプ・電動機)
	B-1次系冷却水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替)(ポンプ)	高	B 78M 130M	— — —	25回 25回 25回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断:40) 保全の有効性評価結果No.4の反映 (ポンプ・電動機)
	C-1次系冷却水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替)(ポンプ)	高	B 78M 130M	— — —	25回 25回 25回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断:40) 保全の有効性評価結果No.4の反映 (ポンプ・電動機)
	D-1次系冷却水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機) 4.簡易点検(潤滑油入替)(ポンプ)	高	B 78M 130M	— — —	25回 25回 25回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断:40) 保全の有効性評価結果No.4の反映 (ポンプ・電動機)
	1次系冷却水タンク	1.開放点検	高	195M	—	25回		
	A-1次系冷却水クレーラ	1.開放点検 2.漏えい試験 3.非破壊試験	高	13M 1F	○	25回 25回	1次系熱交換器検査	
	B-1次系冷却水クレーラ	1.開放点検 2.漏えい試験 3.非破壊試験	高	13M 1F	○	25回 25回	1次系熱交換器検査	
	C-1次系冷却水クレーラ	1.開放点検 2.漏えい試験 3.非破壊試験	高	13M 1F	○	25回 25回	1次系熱交換器検査	
	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備] その他の弁	1.機能・性能試験 2.分解点検	高・低	B 104M~260M	○	25回	1次系安全弁検査 1次系弁検査 1次系真空乾燥弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備] その他の弁駆動部	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検(プラグアンドパッキン取替)	高・低	B 104M~195M	—	25回	1次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備] その他機器	1.分解点検 1.分解点検他	高	52M~156M 13M	— ○	25回 25回		
	その他AM(代替補機冷却、格納容器自然対流冷却)機器 大容量ポンプ	1.分解点検 1.分解点検他	高	13M~234M 13M~195M	○	25回		一部BMあり
	可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ	1.機能・性能試験	高	26M~195M 1Y 10Y	— ○ ○	25回		可搬型重大事故等対応設備機能検査 25回施設検査時に設置 25回施設検査時に設置

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定機回次)	検査名	備考 (○)内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕	原子炉補機冷却海水系	1. 機能・性能試験 (弁駆動部含む)	高	1F	○	25回	原子炉補機冷却系統機能検査		
		A 海水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B	○	25回	2次系ポンプ機能検査	(振動診断「電動機」: 2M) 保全の有効性評価結果No. 5の反映 (ポンプ)
			2. 分解点検 (ポンプ)		52M	○	25回	2次系ポンプ分解検査	
			3. 分解点検 (電動機)		52M	○	25回		
	4. 簡易点検 (グラウンドバッドパッキン取替) (ポンプ)			13M	○	25回			
	B 海水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B	○	25回	2次系ポンプ機能検査	(振動診断「電動機」: 2M) 保全の有効性評価結果No. 5の反映 (ポンプ)	
		2. 分解点検 (ポンプ)		52M	○	25回	2次系ポンプ分解検査		
		3. 分解点検 (電動機)		52M	○	25回			
		4. 簡易点検 (グラウンドバッドパッキン取替) (ポンプ)		13M	○	25回			
	C 海水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B	○	25回	2次系ポンプ機能検査	(振動診断「電動機」: 2M) 保全の有効性評価結果No. 5の反映 (ポンプ)	
		2. 分解点検 (ポンプ)		52M	○	25回	2次系ポンプ分解検査		
		3. 分解点検 (電動機)		52M	○	25回			
		4. 簡易点検 (グラウンドバッドパッキン取替) (ポンプ)		13M	○	25回			
	D 海水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B	○	25回	2次系ポンプ機能検査	(振動診断「電動機」: 2M) 保全の有効性評価結果No. 5の反映 (ポンプ)	
		2. 分解点検 (ポンプ)		52M	○	25回	2次系ポンプ分解検査		
		3. 分解点検 (電動機)		52M	○	25回			
4. 簡易点検 (グラウンドバッドパッキン取替) (ポンプ)			13M	○	25回				
原子炉冷却系統施設 〔原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置〕	原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕 その他の弁	1. 機能・性能試験	高	B	○	25回	1次系弁検査		
		2. 分解点検	高・低	13M~195M	○	25回	1次系弁検査		
		1. 機能・性能試験	高	B	○	25回	1次系弁検査		
		2. 分解点検		65M~78M	○	25回			
	原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕 その他の弁駆動部	1. 機能・性能試験	高	65M	○	25回			
		2. 分解点検 (特性点検)		65M	○	25回			
		1. 分解点検他	高	13M~130M	○	25回			
		1. 特性試験	低	13M	○	25回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査		
	原子炉冷却系統施設 〔原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置〕	1. 特性試験	低	13M	○	25回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査		
		1. 特性試験	低	13M	○	25回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査		
		2. 機能・性能試験		1F	○	25回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査		
		1. 外観点検	高	1F	○	25回	制御棒クラスト検査		
	計測制御系統施設 〔制御材〕	1. 制御棒クラスト	高	1F	○	25回	制御棒クラスト検査	※炉心設計による	
		2. バーナブルボイズン	高	1F	○	25回	制御棒クラスト検査		
		3. プラズマグロブパイプ	高	1F	○	25回	制御棒クラスト検査		
		4. 2次中性子源	高	1F	○	25回	制御棒クラスト検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)	
計測制御系統施設 【制御棒駆動装置】	制御棒クラスター	48本	高	1F	○	25回	制御棒駆動系統機能検査 制御棒クラスター動作検査	(振動診断: 3M)	
		A 制御棒駆動装置MIGセット・電動機	1. 機能・性能試験	高	B	○	25回		
			2. 分解点検 (発電機)		52M	—	25回		
			3. 分解点検 (電動機)		52M	○	23回		
	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (発電機)			13M	○	25回			
	B 制御棒駆動装置MIGセット・電動機	1. 機能・性能試験	高	B	○	25回		(振動診断: 3M)	
		2. 分解点検 (発電機)		52M	—	25回			
		3. 分解点検 (電動機)		52M	○	25回			
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (発電機)		13M	○	25回			
	計測制御系統施設 【ほう酸注入機能を有する設備】	A ほう酸ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B	○	25回	ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断: 4M)
			2. 分解点検 (ポンプ)		39M	○	25回	ほう酸ポンプ分解検査	
			3. 分解点検 (電動機)		52M	—	25回		
			4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	25回		
		B ほう酸ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B	—	25回	ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断: 4M)
			2. 分解点検 (ポンプ)		39M	—	25回	ほう酸ポンプ分解検査	
			3. 分解点検 (電動機)		52M	—	25回		
4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)				13M	○	25回			
C ほう酸ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	高	B	—	25回	ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断: 4M)	
		2. 分解点検 (ポンプ)		39M	—	25回	ほう酸ポンプ分解検査		
		3. 分解点検 (電動機)		52M	—	25回			
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	25回			
A-1 次系純水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B	—	25回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 6M)		
	2. 分解点検 (ポンプ)		130M	—	25回				
	3. 分解点検 (電動機)		39M	—	25回				
	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	25回				
B-1 次系純水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B	—	25回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 6M)		
	2. 分解点検 (ポンプ)		130M	—	23回				
	3. 分解点検 (電動機)		39M	—	25回				
	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	25回				
A ほう酸タンク	1. 開放点検	高	130M	—	22回				
	1. 開放点検	高	130M	—	22回				
	1. 開放点検	高	130M	—	24回				
	1. 開放点検	高	130M	—	25回				
計測制御系統施設 【ほう酸注入機能を有する設備】 その他の弁	1式	高・低	39M~260M	—	25回	1次系真空破壊弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査			
	計測制御系統施設 【ほう酸注入機能を有する設備】 その他機器	1式	高	195M	—	25回			
		1. 分解点検 (グラントパッキン取替)	高	65M~195M	—	25回			
		1. 分解点検他	高	39M~195M	○	25回		一部BMあり	
1. 分解点検他		低							

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)
計測制御系統施設 【工学的安全施設等の作動信号】	A TWS 緩和設備	1式	高	1F	○	—	重大事故時安全停止回路機能検査	25回施設検査時に設置
	計器用空気圧縮機	2台	高	1F	○	25回	制御用空気圧縮系統機能検査	
計測制御系統施設 【制御用空気設備】	A 計器用空気圧縮機・電動機	1. 分解点検他 (圧縮機) 2. 分解点検 (電動機)	高	13M CBM	○ —	25回 25回		(振動診断 (電動機)・2M) 保全の有効性評価結果No.6の反映 (電動機)
	B 計器用空気圧縮機・電動機	1. 分解点検他 (圧縮機) 2. 分解点検 (電動機)	高	13M CBM	○ —	25回 25回		(振動診断 (電動機)・2M) 保全の有効性評価結果No.6の反映 (電動機)
計測制御系統施設 【制御用空気設備】 その他の弁	計測制御系統施設 【制御用空気設備】 その他の弁	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (ブランドパッキン取替)	高・低 高	B 52M~260M 195M	— ○ —	25回 25回 25回	1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査	
	計測制御系統施設 【制御用空気設備】 その他機器	1. 分解点検他	高	13M~195M	○	25回		
計測制御系統施設 【その他設備】	1式	1. 分解点検他	低	104M~260M	○	25回		
	33回路 26回路	1. 機能・性能試験 1. 特性試験	高 高	1F 1F	○ ○	— 25回	安全保護系統機能検査	25回施設検査時に設置
計測制御系統施設 【その他設備】	1. 原子炉保護系ロジック回路 2. 安全防護系ロジック回路	1. 特性試験	高	13M	○	25回	安全保護系設定値確認検査	一部定期事業者検査起動後
	1. 原子炉ドリア、工学的安全施設の始動、原子炉格納容器隔離等を行うためのすべての伝送器、設定器及び保護継電器 (1) 1次冷却材等計測装置 伝送器 設定器 (保護継電器含む) 設定器 (2) 核計測装置 設定器	1. 特性試験	高	13M	○	25回	安全保護系設定値確認検査	一部定期事業者検査起動後
計測制御系統施設 【その他設備】	2. 現場における重要な指示計器 (1) 1次冷却材等計測装置 現場指示計 ・ 1次冷却材等計測装置 現場指示計 ・ 核計測装置 現場指示計 現場指示計	1. 特性試験	高	13M	○	25回	フロント状態監視設備機能検査	
	1. 事故時監視計器 圧力監視計器 水位監視計器 流量監視計器 温度監視計器	1. 特性試験	高	13M	○	25回	フロント状態監視設備機能検査	
計測制御系統施設 【その他設備】	2. 事故時試料採取設備	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	フロント状態監視設備機能検査	一部定期事業者検査起動後
	1. 制御棒制御系 2. 加圧器水位制御系 3. 加圧器圧力制御系 4. 蒸気発生器水位制御系	1. 特性試験 1. 特性試験 2. 機能・性能試験	高・低	13M 1F	○ ○	25回 24回	計測制御系統機能検査	
計測制御系統施設 【その他設備】	1. 1次系計測制御装置 2. 2次系計測制御装置	1. 特性試験	高・低	13M	○	25回	計測制御系統監視機能検査	一部定期事業者検査起動後
	炉外核計測装置 中性子源領域計測装置 中間領域計測装置 出力領域計測装置	1. 特性試験	高	13M	○	25回	核計測装置機能検査	一部定期事業者検査起動後
計測制御系統施設 【その他設備】	炉内計測装置	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高	1F 13M	○ ○	25回 25回	核計測装置機能検査	
	制御棒位置指示装置	1. 特性試験	高	13M	○	25回	制御棒位置指示装置設定値検査	
計測制御系統施設 【その他設備】	炉内計測用シンブルチェーン	1. 非破壊試験	高	39M	—	25回	炉内計測用シンブルチェーン体積検査	
	パームロジック回路 1. 原子炉保護系ロジック関連 2. 安全防護系ロジック関連	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	安全保護系統機能検査 (パームロジック検査)	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)
計測制御系統施設 【その他設備】	総合インターロック 1. 原子炉トリップによるタービン、発電機トリップ検査 2. タービントリップによる原子炉、タービントリップ検査 3. 発電機トリップによる原子炉、タービントリップ検査	1式	高	1F	○	25回	総合インターロック検査	
	中央制御室外原子炉停止装置補機操作回路	1回路	高	1F	○	25回	原子炉の停止制御回路健全性確認検査	
	計測制御系統施設 【その他設備】 その他の弁	1式	高 高・低	B 39M~195M 130M~195M	○	25回	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (グラウンドバックス取替)	
	計測制御系統施設 【その他設備】 その他の弁駆動部	1式	高	B 65M	—	25回	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特牲点検)	
	計測制御系統施設 【その他設備】 その他機器	1式	高	13M~195M	○	25回	1. 特牲試験他	
	恒設代替低圧注水積算流量	1個	低	13M~52M	○	25回	1. 特牲試験他	一部先行実施 一部BMあり
	原子炉水位	1個	高	13M	○	—	1. 特牲試験	計測制御系監視機能検査
	可搬型格納容器内水素濃度	2個	高	13M	○	—	1. 特牲試験	計測制御系監視機能検査
	1次系冷却水タンク加圧ライン圧力	2個	高	13M	○	—	1. 特牲試験	計測制御系監視機能検査
	格納容器スフレイ積算流量	1個	高	13M	○	—	1. 特牲試験	計測制御系監視機能検査
	原子炉下部格納容器水位	1対	高	1F	○	—	1. 機能・性能試験	計測制御系監視機能検査
	原子炉下部キヤピライ水位	1対	高	1F	○	—	1. 機能・性能試験	計測制御系監視機能検査
	可搬型格納容器ガス試料圧縮装置	2台	高	13M	○	—	1. 特牲試験	計測制御系監視機能検査
	可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度 (SA))	4個	高	13M	○	—	1. 特牲試験	計測制御系監視機能検査
	放射性廃棄物の廃棄施設 【気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備】	廃棄物車 (1, 2, 3号機共用)	4棟	低	1W	○	25回	1. 機能・性能試験
蒸気発生器保管庫 (1, 2, 3号機共用)		2棟	低	1W	○	25回	1. 機能・性能試験	プラント運転中又は定検停止中
放射性廃棄物の廃棄施設 【気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備】 その他機器		1式	低	130M	○	17回	1. 分解点検他	一部BMあり 一部先行実施
ガス圧縮機・電動機		2台	低	1F	○	25回	1. 機能・性能試験	先行実施 (振動診断: 6M) 保全の有効性評価結果No. 7の反映 (電動機)
ガス減衰タンク入口圧力制御弁		4台	低	1F	○	25回	1. 機能・性能試験 2. 開放点検 (圧縮機) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油取替) (圧縮機) (駆動部含む)	気体廃棄物処理系機能検査
ガス減衰タンク入口圧力制御弁駆動部		4台	低	130M	—	25回	2. 分解点検	
水素再結合装置		1台	低	65M	—	25回	1. 分解点検	
ほう酸回収装置		1基	低	1F	○	25回	1. 機能・性能試験	気体廃棄物処理系機能検査
廃液蒸発装置		1基	低	13M~195M	○	25回	1. 機能・性能試験	液体廃棄物処理系機能検査
A ガス減衰タンクアラブチャディスプレイ			高	13M~195M	○	25回	2. 分解点検他	先行実施
B ガス減衰タンクアラブチャディスプレイ			高	195M	—	25回	1. 分解点検	先行実施
C ガス減衰タンクアラブチャディスプレイ			高	195M	—	21回	1. 分解点検	先行実施
D ガス減衰タンクアラブチャディスプレイ			高	195M	—	21回	1. 分解点検	先行実施

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)
放射性廃棄物の廃棄施設 【気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備】	A 格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	(メカ測定：1F)
		2. 分解点検 (ポンプ)		26M	—	25回		
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	18回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	25回		
	B 格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	○	25回	液体廃棄物処理系設備検査	(メカ測定：1F)
		2. 分解点検 (ポンプ)		26M	○	25回		
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	15回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	25回		
	A 補助建屋冷却材ドレンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	23回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (メカ測定：1F) 保全の有効性評価結果No. 8の反映 (ポンプ)
		2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	23回		
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	12回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	25回		
B 補助建屋冷却材ドレンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	24回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (メカ測定：1F) 保全の有効性評価結果No. 8の反映 (ポンプ)	
	2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	24回			
	3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	15回			
	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	25回			
A サンプタンクポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B	—	14回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		260M	—	14回		
		3. 分解点検 (電動機)		130M	—	25回		
B サンプタンクポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B	—	20回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		260M	—	14回		
		3. 分解点検 (電動機)		130M	—	25回		
A モニタタンクポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：12M) (メカ測定：1F) 保全の有効性評価結果No. 8の反映 (ポンプ)
		2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	25回		
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	11回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	25回		
B モニタタンクポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B	—	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：12M) (メカ測定：1F) 保全の有効性評価結果No. 8の反映 (ポンプ)
		2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	21回		
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	9回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	25回		
ホールドアップタンク循環ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：12M) 保全の有効性評価結果No. 8の反映 (ポンプ)
		2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	25回		
		3. 分解点検 (電動機)		78M	—	25回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	25回		
A ホールドアップタンクポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (メカ測定：1F) 保全の有効性評価結果No. 8の反映 (ポンプ)
		2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	25回		
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	9回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	25回		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)
放射性廃棄物の廃棄施設 【気体、液体又は固体廃棄物処理設備】	B ホールドアップタンクポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (メガ測定：1F) 保全の有効性評価結果No. 8の反映 (ポンプ)
		2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	25回		
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	10回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	25回		
	A 格納容器サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	24回	液体廃棄物処理系設備検査	
		2. 分解点検		130M	—	24回		
		3. 簡易点検 (メガ測定)		1F	○	25回		
		4. 簡易点検 (サクシジョンストレーナ清掃)		13M	○	25回		
	B 格納容器サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	24回	液体廃棄物処理系設備検査	
		2. 分解点検		130M	—	24回		
		3. 簡易点検 (メガ測定)		1F	○	25回		
		4. 簡易点検 (サクシジョンストレーナ清掃)		13M	○	25回		
	A 薬品ドレンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (メガ測定：1F) 保全の有効性評価結果No. 8の反映 (ポンプ)
		2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	25回		
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	9回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	25回		
B 薬品ドレンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (メガ測定：1F) 保全の有効性評価結果No. 8の反映 (ポンプ)	
	2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	21回			
	3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	13回			
	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	25回			
A 廃液給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (メガ測定：1F) 保全の有効性評価結果No. 8の反映 (ポンプ)	
	2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	21回			
	3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	14回			
	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	25回			
B 廃液給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (メガ測定：1F) 保全の有効性評価結果No. 8の反映 (ポンプ)	
	2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	25回			
	3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	12回			
	4. 簡易点検 (潤滑油入替他) (ポンプ)		26M	○	25回			
C 廃液給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (メガ測定：1F) 保全の有効性評価結果No. 8の反映 (ポンプ)	
	2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	25回			
	3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	13回			
	4. 簡易点検 (潤滑油入替他) (ポンプ)		26M	○	25回			
A 循環ポンプ・電動機 (洗浄排水ろ過装置)	1. 機能・性能試験	低	B	○	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施	
	2. 分解点検 (ポンプ)		130M	○	25回			
	3. 分解点検 (電動機)		130M	—	25回			
	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	25回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)
放射線廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	B 循環ポンプ・電動機 (洗浄排水ろ過装置)	1. 機能・性能試験	低	B	○	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		130M	○	21回		
		3. 分解点検 (電動機)		130M	—	25回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	25回		
	A 洗浄排水モニタタンクポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	23回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断「ポンプ」: 12M) (メカ測定: 1F) 保全の有効性評価結果No. 8の反映 (ポンプ)
		2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	23回		
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	15回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	25回		
	B 洗浄排水モニタタンクポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断「ポンプ」: 12M) (メカ測定: 1F) 保全の有効性評価結果No. 8の反映 (ポンプ)
		2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	21回		
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	9回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	25回		
A 廃液蒸留水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	24回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断「ポンプ」: 12M) (メカ測定: 1F) 保全の有効性評価結果No. 8の反映 (ポンプ)	
	2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	24回			
	3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	14回			
	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	25回			
B 廃液蒸留水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断「ポンプ」: 12M) (メカ測定: 1F) 保全の有効性評価結果No. 8の反映 (ポンプ)	
	2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	21回			
	3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	15回			
	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	25回			
A 補助建屋サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	○	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施	
	2. 分解点検 (ポンプ)		260M	○	11回			
	3. 分解点検 (電動機)		130M	—	25回			
B 補助建屋サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施	
	2. 分解点検 (ポンプ)		260M	—	14回			
	3. 分解点検 (電動機)		130M	—	25回			
酸液ドレンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	14回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施	
	2. 分解点検		260M	—	14回			
	3. 簡易点検 (メカ測定)		1F	○	25回			
固化建屋床下ドレンタンクポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施	
	2. 分解点検 (ポンプ)		260M	—	25回			
	3. 簡易点検 (メカ測定)		1F	—	25回			
固化建屋機器ドレンタンクポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施	
	2. 分解点検 (ポンプ)		260M	—	25回			
	3. 簡易点検 (メカ測定)		1F	—	25回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)		
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	固化建屋ドレンピットポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施		
		2.分解点検 (ポンプ)		260M	—	25回				
		3.簡易点検 (メガ測定)		1F	—	25回				
		1.機能・性能試験		B	—	25回			液体廃棄物処理系設備検査	先行実施
		2.分解点検 (ポンプ)		260M	—	25回				
		3.簡易点検 (メガ測定)		1F	—	25回				
	A 固化建屋洗浄排水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施		
		2.分解点検 (ポンプ)		260M	—	25回				
		3.簡易点検 (メガ測定)		1F	—	25回				
	B 固化建屋洗浄排水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施		
		2.分解点検 (ポンプ)		260M	—	25回				
		3.簡易点検 (メガ測定)		1F	—	25回				
	第2 固体廃棄物処理建屋A サンプポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施		
		2.分解点検 (ポンプ)		195M	—	25回				
		3.分解点検 (電動機)		78M	—	25回				
		4.簡易点検 (グラウンドバックスキン取替) (ポンプ)		104M	—	25回				
	第2 固体廃棄物処理建屋B サンプポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施		
		2.分解点検 (ポンプ)		195M	—	25回				
		3.分解点検 (電動機)		78M	—	25回				
		4.簡易点検 (グラウンドバックスキン取替) (ポンプ)		104M	—	25回				
液体状態の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置	1.特性試験	低	13M	○	25回	液体状態の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査	先行実施			
	2.機能・性能試験		1F	○	25回					
固体系統調設備	1.機能・性能試験	低	1F	—	25回	固体廃棄物処理系統制御機能検査	先行実施			
	2.分解点検他		13M~260M	—	25回					
アスファルト固化設備	1.機能・性能試験	低	1F	○	25回	液体廃棄物処理系アスファルト固化設備機能検査	先行実施			
	2.分解点検他		13M~260M	—	25回					
廃樹脂処理装置	1.機能・性能試験	低	1F	○	25回	廃樹脂処理装置運転性能検査	先行実施			
	2.分解点検他		13M~260M	○	25回					
雜固体溶解炉	1.機能・性能試験	低	1F	○	25回	固体廃棄物処理系溶解炉運転性能検査	先行実施			
	2.分解点検他		13M~260M	○	25回					
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 その他の弁	1.機能・性能試験	高・低	B	—	25回	1 次系安全弁検査 1 次系弁検査	一部先行実施			
	2.分解点検		39M~260M	○	25回			1 次系逆止弁検査 1 次系真空破断弁検査 1 次系弁検査		
	3.簡易点検 (グラウンドバックスキン取替)		104M	—	25回					
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 その他の弁駆動部	1.機能・性能試験	高・低	B	—	24回	1 次系弁検査				
	2.分解点検		65M	○	25回					
	3.簡易点検 (特性点検)		65M	—	25回					

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)
放射性廃棄物の廃棄施設 【気体、液体又は固体廃棄物処理設備】	1式	1. 分解点検他	高	13M~195M	○	25回		一部先行実施
	1式	1. 分解点検他	低	13M~260M	○	25回		一部BMあり 一部先行実施
放射性廃棄物の廃棄施設 【原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備 貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状態の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置】	1式	1. 特性試験	低	13M	○	25回	液体状態の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査 液体状態の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査 (最終の流入サンプ)	
		2. 機能・性能試験		1F	○	25回	液体状態の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査 液体状態の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査 (最終の流入サンプ)	
放射線管理施設 【放射線管理用計測装置】	1式	1. 特性試験	低	13M	○	25回		
		2. 機能・性能試験		1F	○	25回		
放射線管理施設 【放射線管理用計測装置】	4個	1. 特性試験	高	13M	○	25回	エリアモニタ機能検査	
	3R-11	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回		
格納容器じんあいモニタ		2. 特性試験		13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	3R-12	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回		
格納容器ガスマニタ		2. 特性試験		13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	3R-14	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	放射線監視装置機能検査	
補助建屋排気筒ガスマニタ		2. 特性試験		13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	3R-15	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	放射線監視装置機能検査	
復水器空気抽出器ガスマニタ		2. 特性試験		13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	3R-17A	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後
1次系補機冷却水モニタ		2. 特性試験		13M	○	25回		
	3R-17B	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回		
廃棄物処理設備排水モニタ		2. 特性試験		13M	○	25回		
	3R-18	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	放射線監視装置機能検査	
蒸気発生器ブロウダウン水モニタ		2. 特性試験		13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	3R-19	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後
放水口水モニタ		2. 特性試験		13M	○	25回		
	3R-20	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	放射線監視装置機能検査	
格納容器排気筒ガスマニタ		2. 特性試験		13M	○	25回		
	3R-24	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	放射線監視装置機能検査	
補助蒸気復水モニタ		2. 特性試験		13M	○	25回		
	3R-26	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	放射線監視装置機能検査	
タービンサンプ水モニタ		2. 特性試験		13M	○	25回		
	3R-30	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	放射線監視装置機能検査	
水素再結合装置ガスマニタ		2. 特性試験		13M	○	25回		
	3R-31	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	放射線監視装置機能検査	
水素再結合装置簡線ガスマニタ		2. 特性試験		13M	○	25回		
	3R-32	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	放射線監視装置機能検査	
冷却材連統モニタ		2. 特性試験		13M	○	25回		
	3R-41	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	放射線監視装置機能検査	
A高感度型主蒸気管モニタ	3R-65	1. 特性試験	高	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	
放射線管理施設 【放射線管理用計測装置】	B高感度型主蒸気管モニタ	3R-66	高	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後	
	C高感度型主蒸気管モニタ	3R-67	高	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後	
	格納容器排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)	3R-80A	高	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査		
	格納容器排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)	3R-80B	高	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査		
	補助建屋排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)	3R-81A	高	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査		
	補助建屋排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)	3R-81B	高	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査		
	A主蒸気管モニタ	3R-87	1. 特性試験	高	13M	○	放射線監視装置機能検査		
	B主蒸気管モニタ	3R-88	1. 特性試験	高	13M	○	放射線監視装置機能検査		
	C主蒸気管モニタ	3R-89	1. 特性試験	高	13M	○	放射線監視装置機能検査		
	固化建屋排気ガスモニタ	RA-11	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	1F 13M	○ ○	25回 25回	放射線監視装置機能検査	先行実施
	固化装置オフガスモニタ	RA-12	1. 特性試験	低	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	雑固体焼却炉排ガスモニタ	RA-13	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	1F 13M	○ ○	25回 25回	放射線監視装置機能検査	
	雑固体焼却炉排ガスダストモニタ	RA-14	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	1F 13M	○ ○	25回 25回	放射線監視装置機能検査	
	第2固体廃棄物処理建屋排ガスダストモニタ	RA-31	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	1F 13M	○ ○	25回 25回	放射線監視装置機能検査	先行実施
	第2固体廃棄物処理建屋排ガスモニタ	RA-32	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	1F 13M	○ ○	25回 25回	放射線監視装置機能検査	先行実施
	第2固体廃棄物処理建屋補機冷却水モニタ	RA-33	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	1F 13M	○ ○	25回 25回	放射線監視装置機能検査	先行実施
	中央制御室エリアモニタ	3R-1	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	1F 13M	○ ○	25回 25回	中央制御室非常用循環系機能検査	
	格納容器入口エリアモニタ	3R-2	1. 特性試験	低	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	放射化学室エリアモニタ	3R-3	1. 特性試験	低	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	充てんポンプ弁操作室エリアモニタ	3R-4	1. 特性試験	低	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	使用済燃料ピット区域エリアモニタ	3R-5	1. 特性試験	低	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	サンプル室エリアモニタ	3R-6	1. 特性試験	低	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	炉内計装区域エリアモニタ	3R-7	1. 特性試験	低	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	ドラム語室エリアモニタ	3R-8	1. 特性試験	低	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	ガス圧縮装置エリアモニタ	3R-51	1. 特性試験	低	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	使用済燃料輸送容器保管区域エリアモニタ	RC-1	1. 特性試験	低	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	固化建屋制御室エリアモニタ	RA-1	1. 特性試験	低	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	弁室エリアモニタ	RA-2	1. 特性試験	低	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	焼却灰処理室エリアモニタ	RA-3	1. 特性試験	低	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	第2固体廃棄物処理建屋分別室エリアモニタ	RA-5	1. 特性試験	低	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	先行実施

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)	
放射線管理施設 [放射線管理用計測装置]	第2固体廃棄物処理建屋溶解炉室エリアモニタ	1. 特性試験	低	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	先行実施	
	第2固体廃棄物処理建屋制御室エリアモニタ	1. 特性試験	低	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	先行実施	
	モニタステーション	1. 特性試験	低	13M	○	25回	野外モニタ機能検査		
	モニタポスト	1. 特性試験	低	13M	○	25回	野外モニタ機能検査		
	移動式モニタリング設備	1. 特性試験	低	13M	○	25回	野外モニタ機能検査		
	放射線管理施設 [放射線管理用計測装置] その他機器	1. 分解点検他	高	13M	○	25回			
		1. 分解点検他	低	13M	○	25回		一部先行実施	
	緊急時対策所外可搬型エリアモニタ	1. 特性試験	高	1Y	○	—		25回施設検査時に設置	
	可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタ	1. 特性試験	高	1Y	○	—		25回施設検査時に設置	
	可搬式モニタリングポスト	1. 特性試験	高	1F	○	—		25回施設検査時に設置	
	放射線管理施設 [換気設備]	アニュラス循環排気系	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	アニュラス循環排気系機能検査	
		A, B アニュラス循環フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (よう素フィルタ)	高	1F	○	25回	アニュラス循環排気系フィルタ-性能検査	A系、B系の代表機器を実施
		Aアニュラス循環フィルタユニット	2. 開放点検 (フィルタ取替)		X※	○	25回		※機能・性能試験結果により適宜実施
			1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	
		Bアニュラス循環フィルタユニット	2. 開放点検 (差圧確認)	高	52M	○	25回	1次系換気空調設備検査	
中央制御室非常用循環系		1. 機能・性能試験	高	52M	—	25回			
中央制御室非常用循環フィルタユニット		1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	中央制御室非常用循環系機能検査		
		2. 開放点検 (よう素フィルタ)		1F	○	25回	中央制御室非常用循環系フィルタ-性能検査		
		3. 機能・性能試験 (フィルタ取替)		X※	—	25回		※機能・性能試験結果により実施	
		4. 開放点検 (差圧確認)		1F	○	25回	1次系換気空調設備検査		
補助建屋よう素除去排気フィルタユニット		1. 機能・性能試験 (よう素フィルタ)	高	52M	—	25回			
		2. 開放点検 (フィルタ取替)		1F	○	25回	1次系換気空調設備検査		
		3. 機能・性能試験 (差圧確認)		X※	—	25回		※機能・性能試験結果により実施	
		4. 開放点検		1F	○	25回	1次系換気空調設備検査		
格納容器排気フィルタユニット		1. 機能・性能試験	低	52M	—	25回			
	2. 開放点検		1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施		
A格納容器浄化フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査			
	2. 開放点検		52M	—	25回				
B格納容器浄化フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査			
	2. 開放点検		52M	—	25回				
格納容器送気冷暖房ユニット	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施		
	2. 開放点検		52M	—	25回				
A格納容器循環冷暖房ユニット	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査			
	2. 開放点検		52M	—	25回				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)
放射線管理施設 [換気設備]	B 格納容器隔壁冷暖房ユニット	1. 機能・性能試験	高	IF	○	25回	1次系換気空調設備検査	
		2. 開放点検						
C 格納容器隔壁冷暖房ユニット	A 補助建屋送気冷暖房ユニット	1. 機能・性能試験	高	IF	○	25回	1次系換気空調設備検査	
		2. 開放点検						
A 補助建屋送気冷暖房ユニット	B 補助建屋送気冷暖房ユニット	1. 機能・性能試験	低	52M	-	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点検						
A 同御建屋冷暖房ユニット	B 同御建屋冷暖房ユニット	1. 機能・性能試験	高	IF	○	25回	1次系換気空調設備検査	
		2. 開放点検						
B 同御建屋冷暖房ユニット	A 補助建屋排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	高	IF	○	25回	1次系換気空調設備検査	
		2. 開放点検						
A 補助建屋排気フィルタユニット	B 補助建屋排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	IF	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点検						
出入管理室フィルタユニット	ホット保修室排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	IF	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点検						
ベネツ排気フィルタユニット	A 同化建屋暖房ユニット	1. 機能・性能試験	低	IF	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点検						
B 同化建屋暖房ユニット	A 同化建屋暖房ユニット	1. 機能・性能試験	低	IF	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点検						
A 同化建屋排気フィルタユニット	B 同化建屋排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	IF	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点検						
第2 固体廃棄物処理建屋給気フィルタユニット		1. 機能・性能試験	低	IF	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点検						

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する 設備(診断技術)
放射線管理施設 [換気設備]	第2固体廃棄物処理建屋排気ユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	低	1F 52M	○ -	25回 25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
	A格納容器循環ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	高	1F 39M	○ ○	25回 25回	1次系換気空調設備検査	
	B格納容器循環ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	高	1F 39M	○ -	25回 25回	1次系換気空調設備検査	
	C格納容器循環ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	高	1F 39M	○ -	25回 25回	1次系換気空調設備検査	
	A格納容器浄化ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	低	104M 104M	- -	25回 25回	1次系換気空調設備検査	
	B格納容器浄化ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	低	1F 104M	○ -	25回 25回	1次系換気空調設備検査	
	A格納容器送気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	低	1F 130M	○ -	25回 22回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：4M) (メカ測定：1F)
	B格納容器送気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	低	1F 130M	○ -	25回 25回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：4M) (メカ測定：1F)
	A格納容器排気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	低	1F 130M	○ -	25回 25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
	B格納容器排気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	低	1F 130M	○ -	25回 25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
Aエアユース循環ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	高	1F 104M	○ -	25回 25回	1次系換気空調設備検査		
Bエアユース循環ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	高	1F 156M	○ -	25回 25回	1次系換気空調設備検査		
A補助建屋送気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	低	1F 78M	○ -	25回 25回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：3M) (メカ測定：1F)	
B補助建屋送気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	低	1F 78M	○ -	25回 25回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：3M) (メカ測定：1F)	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○)内は適用する 設備診断技術)
放射線管理施設 [換気設備]	A 補助建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：3M) (メカ測定：1F)
		2. 分解点検 (ファン)		104M	—	25回		
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	25回		
	B 補助建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：3M) (メカ測定：1F)
		2. 分解点検 (ファン)		104M	—	25回		
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	25回		
	C 補助建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：3M) (メカ測定：1F)
		2. 分解点検 (ファン)		104M	—	25回		
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	25回		
	A 制御建屋送気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		78M	—	25回		
		3. 分解点検 (電動機)		52M	—	25回		
	B 制御建屋送気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		78M	—	25回		
		3. 分解点検 (電動機)		52M	—	25回		
	A 制御建屋循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		156M	—	25回		
		3. 分解点検 (電動機)		52M	—	25回		
B 制御建屋循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査		
	2. 分解点検 (ファン)		156M	—	25回			
	3. 分解点検 (電動機)		52M	—	25回			
A 補助建屋よう素除去排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査		
	2. 分解点検 (ファン)		130M	—	25回			
	3. 分解点検 (電動機)		52M	—	25回			
B 補助建屋よう素除去排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査		
	2. 分解点検 (ファン)		130M	—	25回			
	3. 分解点検 (電動機)		52M	—	25回			
A 中央制御室非常用循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査		
	2. 分解点検 (ファン)		130M	—	25回			
	3. 分解点検 (電動機)		156M	—	20回			
B 中央制御室非常用循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査		
	2. 分解点検 (ファン)		130M	—	25回			
	3. 分解点検 (電動機)		156M	—	21回			
A 出入管理室排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施	
	2. 分解点検 (ファン)		130M	○	21回			
	3. 分解点検 (電動機)		52M	—	25回			
B 出入管理室排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施	
	2. 分解点検 (ファン)		130M	—	25回			
	3. 分解点検 (電動機)		52M	—	25回			
ホット床修室排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (メカ測定：1F)	
	2. 分解点検 (ファン)		130M	○	21回			
	3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	9回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)	
放射線管理施設 [換気設備]	ベーンラ排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	IF	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施	
		2. 分解点検 (ファン)		130M	○	21回			
		3. 分解点検 (電動機)		156M	—	25回			
	A 固化建屋送気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	IF	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施	先行実施 (振動診断: 4M) ※1号機設備として 第24回保全サイクルに実施 保全の有効性評価結果No.9の反映 (ファン)
		2. 分解点検 (ファン)		CBM	—	※—			
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	25回			
	B 固化建屋送気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	IF	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施	先行実施 (振動診断: 4M) (メカ測定: 1F)
		2. 分解点検 (ファン)		CBM	—	※—			
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	25回			
	A 固化建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	IF	—	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施	先行実施 (振動診断: 4M) ※1号機設備として 第23回定検時に実施 保全の有効性評価結果No.9の反映 (ファン)
		2. 分解点検 (ファン)		CBM	—	※—			
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	25回			
	B 固化建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	IF	—	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施	先行実施 (振動診断: 4M) (メカ測定: 1F)
		2. 分解点検 (ファン)		CBM	—	※—			
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	25回			
第2 固体廃棄物処理建屋A 給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	IF	—	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施	先行実施 (振動診断: 4M) ※1号機設備として 第2回定検時に実施 保全の有効性評価結果No.9の反映 (ファン)	
	2. 分解点検 (ファン)		CBM	—	※—				
	3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	25回				
第2 固体廃棄物処理建屋A 給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	IF	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施	先行実施 (振動診断: 4M) (メカ測定: 1F)	
	2. 分解点検 (ファン)		78M	—	25回				
	3. 分解点検 (電動機)		78M	—	25回				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定例回次)	検査名	備考 (○)内は適用する 設備(診断技術)	
放射線管理施設 【換気設備】	第2固体廃棄物処理建屋B給気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施	
		2.分解点検 (ファン)		78M	—	25回			
		3.分解点検 (電動機)		78M	—	25回			
	第2固体廃棄物処理建屋A排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施	
		2.分解点検 (ファン)		78M	—	25回			
		3.分解点検 (電動機)		78M	—	25回			
	第2固体廃棄物処理建屋B排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施	
		2.分解点検 (ファン)		78M	—	25回			
		3.分解点検 (電動機)		78M	—	25回			
	放射線管理施設 【換気設備】	換気空調設備のファン	1.簡易点検 (潤滑油断給給油)	高・低	13M~91M	○	25回	1次系換気空調設備検査	一部先行実施
			1.機能・性能試験		1F	○	25回		
			2.分解点検他		13M~130M	○	25回		
		可燃性ガス濃度制御系主要弁	1.分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解 検査25回施設定期検査より追加	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解 検査25回施設定期検査より追加
			1.分解点検		130M	—	25回		
			1.分解点検		130M	—	25回		
3D-6720A		1.分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解 検査25回施設定期検査より追加	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解 検査25回施設定期検査より追加	
		1.分解点検		130M	—	25回			
		1.分解点検		130M	—	25回			
3D-6720B		1.分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解 検査25回施設定期検査より追加	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解 検査25回施設定期検査より追加	
		1.分解点検		130M	—	25回			
		1.分解点検		130M	—	25回			
3D-6721A		1.分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解 検査25回施設定期検査より追加	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解 検査25回施設定期検査より追加	
		1.分解点検		130M	—	25回			
		1.分解点検		130M	—	25回			
3D-6721B	1.分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解 検査25回施設定期検査より追加	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解 検査25回施設定期検査より追加		
	1.分解点検		130M	—	25回				
	1.分解点検		130M	—	25回				
3D-6723A	1.分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解 検査25回施設定期検査より追加	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解 検査25回施設定期検査より追加		
	1.分解点検		130M	—	25回				
	1.分解点検		130M	—	25回				
3D-6723B	1.分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解 検査25回施設定期検査より追加	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解 検査25回施設定期検査より追加		
	1.分解点検		130M	—	25回				
	1.分解点検		130M	—	25回				
放射線管理施設 【換気設備】 その他の弁	1.分解点検	高・低	104M~260M	○	25回	1次系弁検査	一部先行実施		
	2.簡易点検 (グラウンドバッキング取替)		195M	○	25回				
	1.分解点検他		13M~260M	○	25回				
放射線管理施設 【換気設備】 その他の機器	1.分解点検他	高	13M~260M	○	25回	1次系弁検査	一部先行実施		
	1.機能・性能試験		1Y	○	—				
	1.機能・性能試験 (よう素フィルタ性能検査)		1Y	○	—				
放射線管理施設 【生体遮蔽装置】	1.機能・性能試験	高	6Y	—	25回	中央制御室の居住性確認検査 検査25回施設定期検査より追加	中央制御室の居住性確認検査は25 回施設定期検査より追加		
	1.機能・性能試験		1F	○	—				
	1.機能・性能試験		13M	○	—				
放射線管理施設 【その他設備】	1.機能・性能試験	高	13M	○	—	計測制御系監視機能検査	計測制御系監視機能検査 検査25回施設定期検査より追加		
	1.機能・性能試験		13M	○	—				
	1.機能・性能試験		13M	○	—				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する 設備診断技術)
原子炉格納容器 [原子炉格納容器]	原子炉格納容器	1. 漏えい率試験 2. 非破壊試験	高	3F 6F	○ —	25回 25回	原子炉格納容器全体漏えい率検査	10年に1回設計圧試験 (今回特重工事により実施)
	エアロック 1個 通常用 1個 非常用 1個	1. 漏えい率試験 2. 非破壊試験	高	1F※	○	25回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	※検査については、2回/3Fにて実施
	機器搬入口	2. 分解点検 3. 簡易点検 (潤滑油補給他)	高	13M 13M	○ ○	25回 25回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	※検査については、2回/3Fにて実施
	機器搬入口	1. 漏えい率試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (潤滑油補給他)	高	1F※ 13M 13M	○ ○ ○	25回 25回 25回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	※検査については、2回/3Fにて実施
	配管貫通部 (伸縮式配管貫通部, 貫通配管閉止フランジ部)	1. 漏えい率試験	高	25%10Y	○	25回	原子炉格納容器使用期間中検査	ISIプログラムによる [別表-6]
	配管貫通部 (貫通配管閉止フランジ部)	1. 漏えい率試験	高	2回/3F	—	25回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	電線貫通部	2. 開放点検	高	13M	○	25回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	原子炉格納容器隔離弁	1. 漏えい率試験	高	2回/3F	○	25回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	T信号により隔離される弁	1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	1F	○	25回	原子炉格納容器隔離弁機能検査	
	P信号により隔離される弁	1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	1F	○	25回	原子炉格納容器隔離弁機能検査	
	原子炉格納容器隔離弁	1. 分解点検	高	52M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	52M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	52M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	52M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	52M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	104M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	52M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	52M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	104M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)
原子炉格納施設 [原子炉格納容器]	原子炉格納容器隔離弁	3A0V-8025	高	104M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-8026	高	104M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-9157	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-9159A	高	104M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-9159B	高	104M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3LCV-1003	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-8028	高	130M	—	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-8033	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-9160A	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-9160B	高	130M	—	24回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-9170	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-9352A	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-9352B	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5000	高	52M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5001	高	52M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5002	高	52M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5003	高	52M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5004A	高	52M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5004B	高	78M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5005	高	52M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5018A	高	52M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5018B	高	52M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5018C	高	52M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5019	高	52M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6709A	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6709B	高	130M	○	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6709C	高	130M	—	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6709D	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6709E	高	130M	—	24回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6710A	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6710B	高	130M	○	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6710C	高	130M	—	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6710D	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3D-6710E	高	130M	—	24回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
3A0V-6752	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
3A0V-6753	高	130M	—	23回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
3A0V-6756A	高	130M	—	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
3A0V-6756B	高	130M	—	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
3A0V-6757A	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
3A0V-6757B	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
3A0V-6758A	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
3A0V-6758B	高	130M	—	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定機回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)		
原子炉格納施設 【原子炉格納容器】	原子炉格納容器隔離弁	3A0V-5502A	高	52M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3A0V-5502B	高	104M	—	24回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3A0V-5502C	高	104M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3A0V-5505A	高	52M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3A0V-5505B	高	104M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3A0V-5505C	高	104M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3M0V-6931	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3M0V-6200	高	130M	○	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3M0V-6201	高	130M	○	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3M0V-6202	高	130M	○	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3M0V-6203	高	130M	○	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3A0V-6746	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3A0V-6747	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		1式	高	39M~130M	○	25回				
		1式	高	52M~156M	○	25回				
		1式	高	13M~52M	○	25回				
		5個	高	1F	○	25回				
		原子炉格納容器隔離弁駆動部	1.機能・性能試験 (シラントハットキーン取替)	高	39M~130M	○	25回		原子炉格納容器隔離弁空逃がし弁機能検査	
		格納容器隔離弁駆動部	1.簡易点検 (特性点検) 2.簡易点検 (性能試験)	高	52M~156M 13M~52M	○ ○	25回 25回			
	原子炉格納施設 【圧力低減設備その他の安全設備】	原子炉格納容器スプレイス	3D-6707A	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
3D-6707B			高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
3D-6707C			高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
3D-6707D			高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
3D-6707E			高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
1式			低	B	—	25回	1次系安全弁検査			
1式			高・低	39M~234M	—	25回				
1式			低	195M	○	22回		一部BMあり		
原子炉格納容器スプレイス			1.機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む) 2.機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	25回	原子炉格納容器安全系機能検査		[対象設備] A・B内部スプレイス 炉心注入系 25回施設定期検査より追加
A内部スプレイス・電動機			1.分解点検 (ポンプ) 2.簡易点検 (電動機) 3.簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	高	130M 130M 26M	— — —	25回 25回 25回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査		その他原子炉注水系ポンプによる代替 A・B内部スプレイス 炉心注入系 25回施設定期検査より追加 保全の有効性評価結果No.3の反映 (ポンプ・電動機)
B内部スプレイス・電動機		1.分解点検 (ポンプ) 2.分解点検 (電動機) 3.簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	高	130M 130M 26M	— — ○	25回 25回 25回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	その他原子炉注水系ポンプによる代替 A・B内部スプレイス 炉心注入系 25回施設定期検査より追加 保全の有効性評価結果No.3の反映 (ポンプ・電動機)		
C内部スプレイス・電動機	1.分解点検 (ポンプ) 2.簡易点検 (電動機) 3.簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	高	130M 130M 26M	— — —	25回 25回 25回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	その他原子炉注水系ポンプによる代替 A・B内部スプレイス 炉心注入系 25回施設定期検査より追加 保全の有効性評価結果No.3の反映 (ポンプ・電動機)			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○)内は適用する 設備診断技術)	
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	D内部スプレポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	25回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	保全の有効性評価結果No.3の反映 (ポンプ・電動機)	
		2. 分解点検 (電動機)		130M	—	25回			
		3. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M	○	25回			
	A内部スプレクレーラ	1. 開放点検	高	195M	—	25回		1次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験	高	195M	—	25回			
		1. 開放点検	高	195M	—	25回		1次系熱交換器検査	
	原子炉格納容器スプレレイ系主要弁	3MOV-6405A	1. 分解点検	高	130M	—	25回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		3MOV-6405B	1. 分解点検	高	130M	—	25回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		3MOV-6417A	1. 分解点検	高	130M	—	23回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		3MOV-6417B	1. 分解点検	高	130M	—	25回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	原子炉格納容器スプレレイ系主要弁駆動部	1式	1. 分解点検	高	156M	—	24回		
		よう素除去薬品タンク	1. 開放点検	高	195M	—	25回		
	原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高	B	—	25回	1次系安全弁検査 1次系弁検査	
		2. 分解点検	高・低	39M~234M	○	25回	1次系真空乾露弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査		
		3. 簡易点検 (グラントパッキン取替)	高	130M~195M	○	25回			
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高	B	—	22回	1次系弁検査		
		2. 分解点検		156M	—	22回			
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] その他機器	1式	1. 分解点検他	高	78M~195M	○	25回			
	5個	1. 機能・性能試験	高	5F	—	—	原子炉格納容器水素再結合装置 機能検査	25回施設設定検時に設置	
静的触媒式水素再結合装置	13個	2. 外観点検 (触媒プレート)		5F	—	—	原子炉格納容器水素再結合装置 機能検査		
		3. 外観点検 (本体)		1F	○	—			
		1. 外観点検	高	1F	○	—		25回施設設定検時に設置	
原子炉格納容器水素燃焼装置	13個	2. 絶縁抵抗測定		1F	○	—			
		3. 抵抗測定		1F	○	—			
		4. 機能・性能試験 (シーケンス試験)		1F	○	—		原子炉格納容器水素再結合装置 機能検査	
		1. 特性試験	高	13M	○	—	—	計測制御系監視機能検査	25回施設設定検時に設置
原子炉格納容器水素燃焼装置 温度監視装置	1. 特性試験	高	13M	○	—	—	計測制御系監視機能検査	25回施設設定検時に設置	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する 設備診断技術)
原子力設備 [その他設備]	クラス1機器 (供用期間中検査対象) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査 対象含む)	1. 非破壊試験	高	7Y	○	25回	クラス1機器供用期間中検査	IS1プログラムによる。 [別表-1]
		2. 漏えい試験		1F	○	25回		
	クラス2機器 (供用期間中検査対象) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査 対象含む)	1. 非破壊試験	高	10Y	—	25回	クラス2機器供用期間中検査	IS1プログラムによる。 [別表-2]
		2. 漏えい試験		10Y	○	25回		
	クラス3機器 (供用期間中検査対象)	1. 非破壊試験	高	10Y	○	25回	クラス3機器供用期間中検査	IS1プログラムによる。 [別表-3]
		2. 漏えい試験		10Y	○	25回		
	クラス1機器N1基金金使用部位 (重大事故等クラス2機器供用期間中検査 対象含む)	1. 非破壊試験	高	3.5Y	○	24回	供用期間中特別検査のうちクラス1 機器N1基金金使用部位特別検査	IS1プログラムによる。 [別表-4]
	クラス2管 (原子炉格納容器内) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査 対象含む)	1. 非破壊試験	高	25%/10Y	○	25回	供用期間中特別検査のクラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査	IS1プログラムによる。 [別表-5]
	蒸気発生器管台溶接部 (重大事故等クラス 2機器供用期間中検査対象含む)	1. 非破壊試験	高	7Y	—	—	供用期間中特別検査のうち蒸気発生 器管台溶接部の健全性確認検査	IS1プログラムによる。 [別表-1]
	クラス3機器、クラス4管の耐圧部	1. 外観点検	高・低	100%/10Y	○	25回	構造健全性検査	排気筒については65Mで実施
	RCPBのベント・ドレン弁の閉止栓	1. 漏えい検査	高	1F	○	25回	構造健全性検査	
レストレイント	1. 外観点検	高	100%/10Y	—	25回	レストレイント検査		
原子力設備 [その他設備] その他の弁	1. 機能・性能試験	低	B	—	25回	1次系安全弁検査		
	2. 分解点検	高・低	130M~195M	—	25回	1次系逆止弁検査		
原子力設備 [その他設備] その他機器	3. 簡易点検 (グラインドパッキン取替)	高	195M	—	22回			
	1. 分解点検他	低	1Y~130M	○	25回		一部BMあり	
重大事故等クラス2機器	1. 非破壊試験	高	10Y	○	—	重大事故等クラス2機器供用期間中 検査	IS1プログラムによる。 [別表-7] 25回施設検査時に設定	
	2. 漏えい試験		10Y	—	—			
重大事故等クラス3機器	1. 漏えい試験	高	10Y	○	—	重大事故等クラス3機器供用期間中 検査	IS1プログラムによる。 [別表-8] 25回施設検査時に設定	
クラス1配管 (水平展開対象)	1. 非破壊試験	高	100%/1F	○	—	供用期間中特別検査のうちクラス1 配管特別検査	IS1プログラムによる。 [別表-9] 25回施設定期検査時に設定	
原子力設備・タービン設備 [その他設備]	耐震クラスS、Bに属する支持構造物	1. 外観点検	高	100%/10Y	○	25回	耐震健全性検査	クラス1、2、3機器供用期間中 検査の対象範囲を除く

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術)			
蒸気タービン 【車室、円板、腐板、噴口、翼、車軸】	高圧タービン	1. 開放点検	高	26M	○	24回	蒸気タービン開放検査				
		2. 組立状況点検					B		24回	蒸気タービン開放検査	
		3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)					13M		25回		
	第1 低圧タービン	1. 開放点検	高	26M	-	-	25回	蒸気タービン開放検査	開放点検実施時は開放点検内で実施		
		2. 外観点検						1F		25回	蒸気タービン開放検査
		3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)						13M		25回	
	第2 低圧タービン	1. 開放点検	高	26M	○	○	24回	蒸気タービン開放検査	開放点検実施時は開放点検内で実施		
		2. 外観点検						1F		25回	蒸気タービン開放検査
		3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)						13M		25回	
	第3 低圧タービン	1. 開放点検	高	26M	-	-	25回	蒸気タービン開放検査	開放点検実施時は開放点検内で実施		
		2. 外観点検						1F		25回	蒸気タービン開放検査
		3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)						13M		25回	
	ロータアライメント 調速装置および非常調速装置 No. 1 主蒸気止め弁 No. 2 主蒸気止め弁 No. 3 主蒸気止め弁 No. 4 主蒸気止め弁 No. 1 蒸気加減弁 No. 2 蒸気加減弁 No. 3 蒸気加減弁 No. 4 蒸気加減弁 1 A再熱蒸気止め弁 1 B再熱蒸気止め弁 2 A再熱蒸気止め弁 2 B再熱蒸気止め弁 3 A再熱蒸気止め弁 3 B再熱蒸気止め弁 1 Aインターセプト弁 1 Bインターセプト弁 2 Aインターセプト弁	No. 1 主蒸気止め弁	1. 組立状況点検	高	B※	○	25回	蒸気タービン開放検査	※タービンの開放時期に合わせて実施		
			1. 外観点検					13M		25回	
		No. 2 主蒸気止め弁	1. 開放点検	高	13M	○	○	25回	蒸気タービン開放検査		
2. 組立状況点検			13M						25回		
No. 3 主蒸気止め弁		1. 開放点検	高	13M	○	○	25回	蒸気タービン開放検査			
		2. 組立状況点検						B		25回	
No. 4 主蒸気止め弁		1. 開放点検	高	13M	○	○	25回	蒸気タービン開放検査			
		2. 組立状況点検						B		25回	
No. 1 蒸気加減弁		1. 開放点検	高	13M	○	○	25回	蒸気タービン開放検査			
		2. 組立状況点検						B		25回	
No. 2 蒸気加減弁		1. 開放点検	高	13M	○	○	25回	蒸気タービン開放検査			
		2. 組立状況点検						B		25回	
No. 3 蒸気加減弁		1. 開放点検	高	13M	○	○	25回	蒸気タービン開放検査			
		2. 組立状況点検						B		25回	
No. 4 蒸気加減弁		1. 開放点検	高	13M	○	○	25回	蒸気タービン開放検査			
	2. 組立状況点検	B						25回			
1 A再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	26M	-	-	25回	蒸気タービン開放検査				
	1. 開放点検						26M		25回	蒸気タービン開放検査	
2 A再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	26M	○	○	24回	蒸気タービン開放検査				
	1. 開放点検						26M		24回	蒸気タービン開放検査	
3 A再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	26M	○	○	24回	蒸気タービン開放検査				
	1. 開放点検						26M		24回	蒸気タービン開放検査	
1 Aインターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	○	○	24回	蒸気タービン開放検査				
	1. 開放点検						26M		24回	蒸気タービン開放検査	
2 Aインターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	○	○	25回	蒸気タービン開放検査				
	1. 開放点検						26M		25回	蒸気タービン開放検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定機回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)	
蒸気タービン 【調速装置及び非常調速装置並びに 調速装置で制御される主要弁】 蒸気タービン 【復水器】	2 Bインターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	○	24回	蒸気タービン開放検査		
	3 Aインターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	—	25回	蒸気タービン開放検査		
	3 Bインターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	—	25回	蒸気タービン開放検査		
	復水器	1. 開放点検	1. 開放点検	高	13M	○	25回	蒸気タービン開放検査	
		2. 防汚塗装	2. 防汚塗装	高	13M	○	25回		
	A 循環水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	1. 分解点検 (電動機)	高	26M	—	25回		
		2. 分解点検 (電動機)	2. 分解点検 (電動機)	高	52M	—	25回		
		3. 簡易点検 (圧油導入装置点検) (ポンプ)	3. 簡易点検 (圧油導入装置点検) (ポンプ)	高	13M	○	25回		
	B 循環水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	1. 分解点検 (ポンプ)	高	26M	○	25回		
		2. 分解点検 (電動機)	2. 分解点検 (電動機)	高	52M	—	25回		
	A 復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	○	24回	先行実施 (振動診断: 6M) (メガ測定: 1F)	
		2. 分解点検 (電動機)	2. 分解点検 (電動機)	高	CBM	—	24回		
	A 復水器真空ポンプシール水タンク	1. 開放点検	1. 開放点検	高	234M	○	22回	2次系容器検査	
		2. 分解点検 (電動機)	2. 分解点検 (電動機)	高	39M	—	25回		
	B 復水器真空ポンプシール水タンク	1. 開放点検	1. 開放点検	高	CBM	—	25回		
2. 分解点検 (電動機)		2. 分解点検 (電動機)	高	CBM	—	25回			
B 復水器真空ポンプシール水タンク	1. 開放点検	1. 開放点検	高	234M	—	22回	2次系容器検査		
	2. 分解点検 (電動機)	2. 分解点検 (電動機)	高	39M	—	25回			
C 復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	—	25回			
	2. 分解点検 (電動機)	2. 分解点検 (電動機)	高	CBM	—	25回			
C 復水器真空ポンプシール水タンク	1. 開放点検	1. 開放点検	高	234M	—	25回	2次系容器検査		
	2. 分解点検 (電動機)	2. 分解点検 (電動機)	高	78M	—	25回			
A 復水器真空ポンプシール水タンク	1. 分解点検 (ポンプ)	1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	—	25回			
	2. 分解点検 (電動機)	2. 分解点検 (電動機)	高	CBM	—	25回			
B 復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	—	25回			
	2. 分解点検 (電動機)	2. 分解点検 (電動機)	高	CBM	—	22回			
C 復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	○	21回			
	2. 分解点検 (電動機)	2. 分解点検 (電動機)	高	CBM	—	25回			
蒸気タービン 【蒸気タービンに附属する熱交換 器】	蒸気タービン 【復水器】 その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M~260M	○	25回		
			2. 分解点検他	低	13M~208M	○	25回		
	I A 湿分離加熱器	1. 開放点検 (蒸気室)	1. 開放点検 (蒸気室)	高	130M	○	22回	蒸気タービン開放検査	
		2. 開放点検 (胴側)	2. 開放点検 (胴側)	高	26M	○	24回		
		3. 漏えい試験	3. 漏えい試験	高	B	○	22回		
		4. 非破壊試験 (加熱管)	4. 非破壊試験 (加熱管)	高	130M	○	22回		
		5. 非破壊試験 (シール溶接部)	5. 非破壊試験 (シール溶接部)	高	130M	○	22回		
	I B 湿分離加熱器	1. 開放点検 (蒸気室)	1. 開放点検 (蒸気室)	高	130M	—	25回		
		2. 開放点検 (胴側)	2. 開放点検 (胴側)	高	26M	—	25回		
		3. 漏えい試験	3. 漏えい試験	高	B	—	25回		
		4. 非破壊試験 (加熱管)	4. 非破壊試験 (加熱管)	高	130M	—	23回		
		5. 非破壊試験 (シール溶接部)	5. 非破壊試験 (シール溶接部)	高	130M	—	23回		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○)内は適用する 設備診断技術)	
蒸気タービン 〔蒸気タービンに付属する熱交換器〕	2 A 凝分離加熱器	1. 開放点検 (蒸気室)	高	130M	—	22回	蒸気タービン開放検査		
		2. 開放点検 (胴側)		26M	○	24回			
		3. 漏えい試験		B	—	22回			
		4. 非破壊試験 (加熱管)		130M	—	22回			
		5. 非破壊試験 (シール溶接部)		130M	—	22回			
	2 B 凝分離加熱器	1. 開放点検 (蒸気室)	高	130M	—	23回	蒸気タービン開放検査		
		2. 開放点検 (胴側)		26M	—	25回			
		3. 漏えい試験		B	—	23回			
		4. 非破壊試験 (加熱管)		130M	—	23回			
		5. 非破壊試験 (シール溶接部)		130M	—	23回			
	3 A 凝分離加熱器	1. 開放点検 (蒸気室)	高	130M	—	22回	蒸気タービン開放検査		
		2. 開放点検 (胴側)		26M	○	24回			
		3. 漏えい試験		B	—	22回			
		4. 非破壊試験 (加熱管)		130M	—	22回			
		5. 非破壊試験 (シール溶接部)		130M	—	22回			
	3 B 凝分離加熱器	1. 開放点検 (蒸気室)	高	130M	—	23回	蒸気タービン開放検査		
		2. 開放点検 (胴側)		26M	—	25回			
		3. 漏えい試験		B	—	23回			
		4. 非破壊試験 (加熱管)		130M	—	23回			
		5. 非破壊試験 (シール溶接部)		130M	—	23回			
	A 脱気器			高	39M	—	25回	2次系容器検査	
	B 脱気器			高	39M	○	25回	2次系容器検査	
	脱気器タンク			高	39M	○	25回	2次系容器検査	
	第 1 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	25回	2次系熱交換器検査		
		2. 漏えい試験		B	—	25回			
3. 非破壊試験		130M		—	25回				
第 1 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	○	23回	2次系熱交換器検査			
	2. 漏えい試験		B	○	23回				
	3. 非破壊試験		130M	○	23回				
第 1 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	24回	2次系熱交換器検査			
	2. 漏えい試験		B	—	24回				
	3. 非破壊試験		130M	—	24回				
第 2 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	25回	2次系熱交換器検査			
	2. 漏えい試験		B	—	25回				
	3. 非破壊試験		130M	—	22回				
第 2 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	○	23回	2次系熱交換器検査			
	2. 漏えい試験		B	○	23回				
	3. 非破壊試験		130M	—	23回				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する 設備診断技術)				
蒸気タービン 〔蒸気タービンに付属する熱交換 器〕	第2 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	24回	2次系熱交換器検査					
		2. 漏えい試験		B	—	24回						
		3. 非破壊試験		130M	—	24回						
		第3 A 低圧給水加熱器		1. 開放点検	高	65M			—	25回	2次系熱交換器検査	
				2. 漏えい試験		B			—	25回		
				3. 非破壊試験		130M			—	22回		
		第3 B 低圧給水加熱器		1. 開放点検	高	65M			○	23回	2次系熱交換器検査	
				2. 漏えい試験		B			○	23回		
				3. 非破壊試験		130M			—	23回		
		第3 C 低圧給水加熱器		1. 開放点検	高	65M			—	24回	2次系熱交換器検査	
				2. 漏えい試験		B			—	24回		
				3. 非破壊試験		130M			—	24回		
	第4 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	25回	2次系熱交換器検査					
		2. 漏えい試験		B	—	25回						
		3. 非破壊試験		130M	—	25回						
	第4 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	○	23回	2次系熱交換器検査					
		2. 漏えい試験		B	○	23回						
		3. 非破壊試験		130M	○	23回						
	第4 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	24回	2次系熱交換器検査					
		2. 漏えい試験		B	—	24回						
		3. 非破壊試験		130M	—	24回						
	第6 A 高圧給水加熱器	1. 開放点検	高	130M	—	22回	2次系熱交換器検査					
		2. 漏えい試験		B	—	22回						
		3. 非破壊試験 (加熱管)		130M	—	22回						
4. 非破壊試験 (シール溶接部)		130M		—	22回							
第6 B 高圧給水加熱器	1. 開放点検	高	130M	—	23回	2次系熱交換器検査						
	2. 漏えい試験		B	—	23回							
	3. 非破壊試験 (加熱管)		130M	—	23回							
	4. 非破壊試験 (シール溶接部)		130M	—	23回							
グラウンド蒸気復水器	1. 開放点検	高	65M	—	23回	2次系熱交換器検査						
	2. 漏えい試験		B	—	23回							
	3. 非破壊試験		130M	—	23回							
蒸気タービン 〔蒸気タービンに付属する熱交換器〕 その他機器	1 式	1. 分解点検他	低	65M~130M	—	24回		一部先行実施				
		蒸気タービン 給水・復水・循環水系統	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	高	1F	○	25回	蒸気タービン附属設備機能検査	定期事業者検査起動後			
			1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	○	25回					
			2. 分解点検 (A1電動機)		52M	○	25回					
		A 主給水ポンプ・電動機	3. 分解点検 (A2電動機)		52M	—	25回					
			4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	25回					

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定機回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)						
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備〕	B 主給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	-	25回								
		2. 分解点検 (B-1 電動機)												
		3. 分解点検 (B-2 電動機)												
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)												
	C 主給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	-	25回								
		2. 分解点検 (C-1 電動機)												
		3. 分解点検 (C-2 電動機)												
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)												
	A 給水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	○	25回			(振動診断〔電動機〕: 3M) 保全の有効性評価結果No.11の反映 (電動機)					
		2. 分解点検 (電動機)												
	B 給水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	-	25回			(振動診断〔電動機〕: 3M) 保全の有効性評価結果No.11の反映 (電動機)					
		2. 分解点検 (電動機)												
	C 給水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	-	25回			(振動診断〔電動機〕: 3M) 保全の有効性評価結果No.11の反映 (電動機)					
		2. 分解点検 (電動機)												
	A 復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	156M	○	21回			(振動診断: 3M) 保全の有効性評価結果No.12の反映 (電動機)					
2. 分解点検 (電動機)														
B 復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	156M	-	25回			(振動診断: 3M) 保全の有効性評価結果No.12の反映 (電動機)						
	2. 分解点検 (電動機)													
	3. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)													
C 復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	156M	-	25回			(振動診断: 3M) 保全の有効性評価結果No.12の反映 (電動機)						
	2. 分解点検 (電動機)													
	3. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)													
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する管等〕	A 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	65M	-	24回		2次系容器検査						
		2. 開放点検												
		3. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)												
		1. 開放点検												
		2. 開放点検												
	B 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	65M	-	25回			2次系容器検査					
		2. 開放点検												
	C 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	65M	○	21回			2次系容器検査					
		2. 開放点検												
	D 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	65M	-	22回			2次系容器検査					
		2. 開放点検												
	E 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	65M	-	23回			2次系容器検査					
		2. 開放点検												
	復水タンク	1. 分解点検他	低	13M~130M	○	25回			一部先行実施					
	蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する管等〕	主配管 (主蒸気系統・抽気系統・ドレン系統)	1. 外観・目視点検	高	IF	○	25回		蒸気タービン開放検査					
2. 非破壊試験														
1. 外観点検			高・低							100%/10Y	○	25回		定期事業者検査直後
2. 非破壊試験											○	25回		2次系配管検査
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する管等〕	2次系配管等※ (上記以外の主蒸気系統・給水系統・抽気系統・ドレン系統・復水系統・その他系統) ※配管の他、タービン、ポンプ、熱交換器、蒸気タービン	1. 分解点検他	高	52M	○	25回								
		2. 非破壊試験												
		1. 分解点検												
		2. 非破壊試験												

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○)内は適用する設備診断技術)
蒸気タービン 【その他設備】	蒸気タービン本体、蒸気タービンの附属設備	1. 保安装置点検 2. 負荷点検	高	1F 1F	○ ○	25回 25回	蒸気タービン性能検査 総合負荷性能検査	プラント運転中及び定検起動後 定期事業者検査起動後
蒸気タービン 【その他設備】 その他の弁	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (グラランドパッキン取替)	高・低	B 13M~260M 52M~195M	○ ○ ○	25回 25回 25回	原子炉補機冷却系機能検査 1 次系弁検査 2 次系安全弁検査 2 次系安全弁検査 2 次系弁検査 1 次系弁検査 1 次系逆止弁検査	
蒸気タービン 【その他設備】 その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性点検)	高	B 52M~156M 13M	- ○ ○	25回 25回 25回	1 次系弁検査 2 次系弁検査 原子炉補機冷却系機能検査	
蒸気タービン 【その他設備】 その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M~260M	○	25回		一部先行実施 (振動診断) 湿分離器ドレンポンプ用電動機、E H ガバナ油ポンプ用電動機、循環水ポンプ駆油ポンプ、循環水ポンプ薬油ポンプ用電動機、4M、[2 次系冷却水ポンプ、2 次系冷却水ポンプ用電動機、低圧ドレンポンプ用電動機] : 3M
その他AM (格納容器内注水) 機器	1式	1. 分解点検他	低	13M~260M	○	25回		一部先行実施一部BMあり(振動診断) [復水処理装置凝液中和槽排水ポンプ、復水処理装置凝液中和槽排水ポンプ用電動機、再生用水ポンプ、再生用水ポンプ用電動機、復水脱塩設備排水ポンプ、逆洗用水ポンプ、原水ポンプ用電動機] : 12M、[復水器水室空気抜きポンプ、補助蒸気復水回収カクポンプ] : 6M、[循環水ポンプ、潤滑水ポンプ、循環水ポンプ潤滑水ポンプ用電動機、雑用空気圧縮機用電動機] : 2M、[油清浄器ポンプ、油清浄器ポンプ用電動機、復水器細管洗浄装置ポンプ] : 循環ポンプ、油清浄器ポンプ用電動機、主油カクポンプ用電動機、空気側管封油ポンプ用電動機、密封油ポンプ用電動機] : 3M

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)
その他発電用原子炉の附属施設 [補助ボイラー]	補助ボイラー系統	1. 外観点検	低	B ※1	○	45回※2	補助ボイラー設備検査	プラント運転中 ※1 補助ボイラー設備検査は、補助ボイラー開放検査に含ませて実施する。 ただし、前回の点検後の運転時間が4.0.0時間、かつ起動回数が1.2.0回に達すると見込まれる時期までに定期事業者検査を実施する。 ※2 自主点検回次
	胴、管寄せ及び管 安全弁 ボイラーに附属する給水設備 ボイラーに附属する熱交換器 ボイラーに附属する通風設備 ボイラーに附属する空気圧縮設備及びガス 圧縮設備 ボイラーに附属する管等油燃焼用機器	1. 性能試験 2. 開放点検 3. 開放点検他	低	B ※1 10Y ※1 5Y ~ 20Y	○	45回※2	補助ボイラー性能検査	※1 補助ボイラー性能検査は、補助ボイラー開放検査に含ませて実施する。 ただし、前回の点検後の運転時間が4.0.0時間、かつ起動回数が1.2.0回に達すると見込まれる時期までに定期事業者検査を実施する。 ※2 自主点検回次
燃料運搬設備に係る油の輸送管、燃料貯蔵 設備に係る油タンク	1式	4. 簡易点検 (ホース取替)		5Y	○	42回※1		プラント運転中 ※1 自主点検回次 (振動診断 [A/B]補助ボイラー給水ポンプ、A/B補助ボイラー給水ポンプ用電動機、A/B補助ボイラー加圧ポンプ、A/B補助ボイラー加圧ポンプ用電動機) ; 6M [C]補助ボイラー給水ポンプ、C補助ボイラー給水ポンプ用電動機、C補助ボイラー加圧ポンプ、C補助ボイラー加圧ポンプ用電動機] ; 12M [補助ボイラー押込通風機用電動機] ; 4M
	1式	1. 開放点検	低	2Y ~ 20Y	○	46回※1	補助ボイラー燃料ポンプ	※1 自主点検回次 (振動診断[補助ボイラー燃料ポンプ、補助ボイラー燃料ポンプ用電動機] ; 4M) 保全の有効性評価結果No.13の反映
補助ボイラー集じん機 はい理処理設備に附属する空気圧縮機、通 風機、破砕機又は塵砕機	1式	1. 開放点検	低	10Y ~ 20Y	—	38回※1		プラント運転中 ※1 自主点検回次
	1式	1. 性能・性能試験 1. 分解点検 1. 分解点検他	低	B 1Y ~ 10Y 1Y ~ 20Y	○	46回※1 46回※1	補助ボイラー設備検査	※1 自主点検回次
補助ボイラー-附属設備その他機器	1式	1. 分解点検	低	1Y ~ 20Y	○	46回※1		プラント運転中 ※1 自主点検回次

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定機回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)	
その他充電用原子炉の附属施設 [非常用電源設備]	ディーゼル発電機	2台	高	1F	○	25回	非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機定格容量検査) 非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査)		
	安全注入信号及び内部スプレッドレ信号発生(同時にディーゼル発電機に電源を求める機器)	33台	高	1F	○	25回	非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査)		
	Aディーゼル発電機		高	52M	—	25回			
	Bディーゼル発電機		高	52M	—	25回			
	Aディーゼル機関		高	26M	—	25回			
	Aディーゼル機関のシリンダ (ピストン、ピストン接続棒、シリンダカバー、クランク軸)	No. 1	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 2	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 3	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 4	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 5	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 6	1. 分解点検	高	130M	—	24回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 7	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 8	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 9	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 10	1. 分解点検	高	130M	—	23回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 11	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 12	1. 分解点検	高	130M	—	24回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
	Bディーゼル機関		1. 分解点検	高	26M	○	25回		
	Bディーゼル機関のシリンダ (ピストン、ピストン接続棒、シリンダカバー、クランク軸)	No. 1	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 2	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 3	1. 分解点検	高	130M	○	22回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 4	1. 分解点検	高	130M	○	22回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 5	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 6	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
	No. 7	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	No. 8	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	No. 9	1. 分解点検	高	130M	○	22回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	No. 10	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	No. 11	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	No. 12	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
Aディーゼル機関の吸気弁	24個	1. 分解点検	高	26M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
Bディーゼル機関の吸気弁	24個	1. 分解点検	高	26M	○	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
Aディーゼル機関の排気弁	24個	1. 分解点検	高	26M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
Bディーゼル機関の排気弁	24個	1. 分解点検	高	26M	○	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
Aディーゼル機関の燃料噴射弁	12個	1. 分解点検	高	13M	○	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
Bディーゼル機関の燃料噴射弁	12個	1. 分解点検	高	13M	○	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 (○)内は適用する設備(技術)	
その他発電用原子炉の附属施設 [非常用電源設備]	ディーゼル発電機附属設備	1.機能・性能試験	高	1F	○	25回	非常用予備発電機附属設備検査	(振動診断 [燃料弁冷却水ポンプ、燃料弁冷却 水ポンプ用電動機]：1M [温水循環ポンプ、温水循環ポンプ 用電動機、潤滑油ブライミングポン プ]：3M)	
		2.非破壊試験		13~39M	○	25回			
		3.外観点検	高・低	1F	○	25回	非常用予備発電機附属設備検査		
		4.特性能試験		13M	○	25回	非常用予備発電機附属設備検査		
		5.分解点検		26M~130M	○	25回			
		6.開放点検	高	13M~130M	○	25回			
		7.漏えい試験		13M~39M	○	25回			
	1.機能・性能試験	高	6M	○	25回	その他非常用発電装置の機能検査、そ の他非常用発電装置の附属設備検査			
	2.取替他								
	電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用)	3台	1.機能・性能試験	高	3M	○	—	可搬式代替電源設備検査	25回施設検査時に設置
		3台	1.機能・性能試験	高	3M	○	—	可搬式代替電源設備検査	25回施設検査時に設置
		3台	1.機能・性能試験	高	3M	○	—	可搬式代替電源設備検査	25回施設検査時に設置
		2台	1.開放点検	高	10F	—	—		25回施設検査時に設置
3台		1.外観点検他	高	6M~1Y	○	—		25回施設検査時に設置	
1式		1.分解点検	高・低	13M~130M	○	25回		消防法に基づく点検	
その他発電用原子炉の附属施設 [非常用予備発電装置] その他機器	1式	1.分解点検他	高	13M~195M	○	25回			
		1.分解点検他	低	13M~260M	○	25回		一部BMあり	
		1.機能・性能試験	高	1F	○	25回	直流電源系機能検査	直流電源系機能検査は25回施設設 定期検査より追加	
	2組(60個/組)	2.機能・性能試験 (動作機能)			1F	○	25回	直流電源系動作検査	直流電源系動作検査は25回施設設 定期検査より追加
		3.簡易点検(赤電)			2回/Y	○	25回		フラント運転中又は定検停止中
		1.機能・性能試験	高	1F	○	25回	インバータ機能検査		
	4台	2.特性能試験他			13M	○	25回	インバータ機能検査	
		1.機能・性能試験	高	1F	○	25回	インバータ機能検査	25回施設検査時に設置	
		2.特性能試験他			13M	○	25回		
	1台	1.外観点検	高	1Y	○	—	—		
		2.電圧測定	高	1Y	○	—	—		
		1.外観点検	高	1Y	○	—	—		
	2台	2.電圧測定	高	1Y	○	—	—		
1.分解点検他		高	13M~273M	○	25回	25回	25回施設検査時に設置		
1.分解点検他		低	13M~208M	○	25回	25回	25回施設検査時に設置	一部BMあり	
その他発電用原子炉の附属施設 [その他の電源装置] その他機器	1式	1.分解点検他	高	13M~104M	○	25回			
		1.分解点検他	高	13M~78M	○	25回			
		1.分解点検他	高	156M	—	25回			
	1式	1.分解点検他	高	13M~364M	○	25回	25回	振動診断[相分離母線冷却 ファン電動機]：6M	
		1.分解点検他	低	13M~208M	○	25回	25回	一部BMあり	
		1.分解点検他							

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)
その他発電用原子炉の附属施設 [火災防護設備]	電動消火ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機)	高	1Y 4Y	○ —	25回 25回	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 (振動診断「電動機」: 1M)	
	消火水ポンプ	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機)	高	B※ 130M 130M	— — —	— — —	B※: ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 25回施設設定検時に設置 25回施設設定検時に設置	
	消火水タンク	1. 開放点検	高	130M	—	—	25回施設設定検時に設置	
その他発電用原子炉の附属施設 [火災防護設備]	煙草流入防止装置	1. 取替	高	130M	—	—	25回施設設定検時に設置	
	オイルパン、ドレンパン (燃料取替用水ポンプ、充てん高圧注入ポンプ、ほうろくポンプ、計器用コンプレッサ、チラーユニット、冷水ポンプ、1次系冷却水ポンプ他)	1. 外観点検	低	10F	—	—	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 25回施設設定検時に設置	
	その他発電用原子炉の附属施設 [火災防護設備]	1. 特性試験他	高	1Y~130M	○	—	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 25回施設設定検時に設置	
	浸水防止蓋	1. 式	高	1M~130M	○	—	25回施設設定検時に設置	
	堰、浸水防止堰、伝播防止堰	1. 式	高	10Y	—	—	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 25回施設設定検時に設置	
	水密扉	1. 式	高	1F	○	—	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 25回施設設定検時に設置	
	潮位計	2. 式	高・低	1F	○	—	計測制御系監視機能検査	
	液位監視カメラ	2. 式	高	1F	○	—	計測制御系監視機能検査	
	湧水サンプリング排水系統	1. 機能・性能試験 1. 機能・性能試験	低	B※	—	—	25回施設設定検時に設置 浸水防護設備検査	
	湧水サンプリングポンプ・電動機	1. 式	低	130M	—	—	(メカ測定: 1F) 25回施設設定検時に設置 (水中ポンプから機型ポンプに変更)	
その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護設備]	その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設]	1. 機能・性能試験	低	B	—	—	浸水防護設備検査検査は、25回施設設定検時から設定	
	その他の弁	2. 分解点検	低	91M	—	—	浸水防護設備検査検査は、25回施設設定検時から設定	
	その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設]	1. 機能・性能試験	低	B	—	—	浸水防護設備検査検査は、25回施設設定検時から設定	
	その他の弁駆動部	2. 分解点検	高・低	156M	—	—	25回施設設定検時に設置	
	その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設]	1. 外観点検他	高	10Y	—	—	25回施設設定検時に設置	
	軽油用ドラム缶	1. 取替	高	2Y	—	—	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 25回施設設定検時に設置	
	海水ポンプ室	1. 式	高	1Y	○	25回	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 25回施設設定検時に設置	
	外部遮へい壁、内部コンクリート、原子炉格納施設基礎、原子炉補助建屋、取水構造物、タービン建屋 (タービン架台)	1. 非破壊試験	高・低	5Y	○	25回	25回	プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	原子炉建屋	1. 外観点検	高・低	1F	○	25回	25回	定期事業者検査実施後
	取水口設備	1. 外観点検	高	1F	○	25回	25回	定期事業者検査実施後
プラント総合 全設機器	原子炉及びその附属設備 (補助ボイラー及び非常用予備発電装置を除く)	1. 総合性能試験	高	1F	○	25回	25回	定期事業者検査実施後
	諸機器	1. 分解点検他	低	13M~104M	○	25回	25回	(振動診断「スクリーン洗浄ポンプ用電動機」: 4M) 一部先行実施

クラス1 機器供用期間中検査7年計画

1. 原子炉容器 (1/2)

維持規格		美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)											備考	
		2008年度 第23回 サイクル*	2009年度 第24回 サイクル*	2010年度	2011年度 ～ 2020年度 第25回 サイクル	2021年度 第26回 サイクル	2022年度	2023年度 第27回 サイクル						
項目 番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度 第23回 サイクル*	2009年度 第24回 サイクル*	2010年度	2011年度 ～ 2020年度 第25回 サイクル	2021年度 第26回 サイクル	2022年度	2023年度 第27回 サイクル
B1.101	B-A	上部胴と中間胴との周溶接継手	体積	100%	1シーム	水中UT (内面)	100% (可能範囲)					100%		
		中間胴と下部胴との周溶接継手	体積	100%	1シーム	水中UT (内面)	100% (可能範囲)					100%		
B1.102	B-A	中間胴の長手溶接継手	体積	100%	3シーム	水中UT (内面)	100% (可能範囲)					100%		
		下部胴の長手溶接継手	体積	100%	3シーム	水中UT (内面)	100% (可能範囲)					100%		
B2.111		下部胴と下部鏡板との周溶接継手	体積	100%	1シーム	水中UT (内面)	100% (可能範囲)					100%		
B2.121	B-B	下部鏡板の周溶接継手	体積	100%	1シーム	UT	100% (可能範囲)					100%		
B2.122		下部鏡板の長手溶接継手	体積	100%	4シーム	UT	100% (可能範囲)		5%					
B3.105	B-C	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	100%	1シーム	水中UT (内面)	100% (可能範囲)					100%		
B3.106		上部鏡板と上部蓋フランジとの溶接継手	体積	100%	1シーム	UT	100% (可能範囲)		20%			20%		20%
B3.10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	100%	3箇所	水中UT (内面)	100% (可能範囲)					3箇所		
		冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	100%	3箇所	水中UT (内面)	100% (可能範囲)					3箇所		
B3.20	B-D	冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積	100%	3箇所	水中UT (内面)	100% (可能範囲)					3箇所		
		冷却材出口管台内面の丸みの部分	体積	100%	3箇所	水中UT (内面)	100% (可能範囲)					3箇所		

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規投発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を亀裂解釈NRA文書改正の施行日より適用する。なお、本サイクル内の過去の維持規格適用期間は以下の通り。

- ・維持規格2002年版：2008年度～2013年6月(本サイクル開始～新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用まで)
- ・維持規格2008年版：2013年7月～2019年5月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用～亀裂解釈NRA文書改正まで)

1. 原子炉容器 (2/2)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)							備考			
								2008年度 第23回 サイクル	2009年度 第24回 サイクル	2010年度	2011年度 ～ 2020年度 第25回 サイクル	2021年度 第26回 サイクル	2022年度	2023年度 第27回 サイクル				
B5.10	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	100%	3箇所	水中UT・PT (内面)	100% (可能範囲)	—	—	—	3箇所 (UT) Bl-7 (PT)	—	—	—	3箇所 (UT) Bl-7 (PT)	—	—	—
B6.10		冷却材出口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	100%	3箇所	水中UT・PT (内面)	100% (可能範囲)	—	—	—	3箇所 (UT) Bl-7 (PT)	—	—	—	—	—	—	—
B6.30		ナット	VT-1	100%	58個	VT-1	100%	11個	12個	—	12個	—	—	—	12個	—	—	—
B6.40	B-G-1	スタッドボルト	体積	100%	58本	UT	100%	11本	12本	—	12本	—	—	—	12本	—	—	—
B6.50		胴フランジネジ穴のネジ部	体積	100%	58箇所	UT	100%	11箇所	12箇所	—	12箇所	—	—	—	12箇所	—	—	—
B7.10	B-G-2	上蓋用ワッシャ	VT-1	100%	58個	VT-1	100%	11個	12個	—	12個	—	—	—	12個	—	—	—
B14.10	B-0	T/Cハウジングのマーマンクランプ用ボルト、ナット	VT-1	25%	4組	VT-1	25% (1組)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
B15.10	B-P	制御棒駆動ハウジングの溶接継手	体積又は表面	最外周の25%	20箇所	PT	最外周の25% (5箇所)	—	—	—	2箇所	—	—	—	—	—	—	—
F1.41	F-A	圧力保持範囲	VT-2	漏えい試験時100%	1式	VT-2	漏えい試験時100% (可能範囲)	100%	100%	—	100%	—	—	—	100%	—	—	—
G1.10	G-P-1	支持構造物	VT-3	25%	6箇所	VT-3	25% (2箇所)	—	—	—	1箇所 (C出口)	—	—	—	—	—	—	—
G1.40		原子炉容器の内部	VT-3	7.5%	1基	VT-3 (水中テレビ)	各検査時期に 100% (可能範囲)	—	—	—	100%	—	—	—	100%	—	—	—
G1.50	G-P-2	内部取付け物	VT-3	7.5%	4箇所	VT-3 (水中テレビ)	100% (可能範囲)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		構造物・取付け物	VT-3	7.5%	1基	VT-3 (水中テレビ)	100% (可能範囲)	—	—	—	—	—	—	—	100%	—	—	—
		炉心支持構造物	VT-3	7.5%	1基	VT-3 (水中テレビ)	100% (可能範囲)	—	—	—	—	—	—	—	100%	—	—	—

下段の構造物・
取付け物に該当

2. 加圧器 (1 / 2)

項目番号	カテゴリ	規格	維持規格 J S M E S N A 1 - 2 0 1 2 / 2 0 1 3 / 2 0 1 4										美浜発電所第3号機械検査計画(7カ年)			備考
			検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度 第23回	2009年度 第24保全 サイクル	2010年度	2011年度 ~ 2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度	2023年度 第27保全 サイクル	
B2.11			上部鏡板と上部胴との周溶接継手	体積	5%	1シーム	UT	5%	2.5%	-	-	-	-	-		
			下部鏡板と下部胴との周溶接継手	体積	5%	1シーム	UT	5%	-	-	-	-	-	-		
B2.12	B-B		上部胴の長手溶接継手	体積	10%	2シーム	UT	10%	5%	-	-	-	-	5%		
			下部胴の長手溶接継手	体積	10%	2シーム	UT	10%	5%	-	-	-	-	5%		
B2.13			上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	5%	1シーム	UT	5%	2.5%	-	-	-	-	-		
			管台と容器との溶接継手													
B3.30			安全弁用管台と容器との溶接継手	体積	管台数の 25%	3箇所 1箇所 1箇所 1箇所	UT	管台数の 25% (2箇所)								
			逃がし弁用管台と容器との溶接継手													
			スプレ用管台と容器との溶接継手													
			サージ用管台と容器との溶接継手													
B3.40			管台内面の丸みの部分	体積	管台数の 25%	3箇所 1箇所 1箇所 1箇所	UT	管台数の 25% (2箇所)								
			安全弁用管台内面の丸みの部分													
			逃がし弁用管台内面の丸みの部分													
			スプレ用管台内面の丸みの部分													
B5.40	B-F		サージ用管台内面の丸みの部分	体積 及び表面	管台数の 25%	3箇所 1箇所 1箇所 1箇所	UT・PT	管台数の 25% (2箇所)								
			管台とセーフエントとの溶接継手 (呼び径100A以上)													
			安全弁用管台とセーフエントとの溶接継手													
			逃がし弁用管台とセーフエントとの溶接継手													

2. 加圧器 (2 / 2)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	維持規格 JSME S NA 1-2012/2013/2014 美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)										備考	
			検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度 第23回	2009年度 第24保全 サイクル	2010年度	2011年度 ~ 2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル		2022年度
B7.20	B-G-2	マンホールの取付ボルト	VT-1	25%	16本	VT-1	25% (4本)	2本	-	-	-	-	2本	
B8.20	B-H	支持部材の容器への取付溶接継手 (支持スカート)の溶接継手)	表面	7.5%	1シーム	PT	7.5%		-	3.5%				
B15.20	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%	1式	VT-2	漏えい試験時 100% (可能範囲)	100%	-	100%		-	100%	
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	25%	1箇所	VT-3	25% (1箇所)		-			-	1箇所	

3. 蒸気発生器 (1/1)

項目 番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	美浜発電所第3号機械検査計画(7カ年)							備考		
								2008 年度 第23回	2009 年度 第24保全 サイクル	2010 年度	2011年度 ～ 2020年度 第25保全 サイクル	2021 年度 第26保全 サイクル	2022 年度	2023 年度 第27保全 サイクル			
B2.40	B-B	管板と水室鏡板との溶接継手	体積	代表1基の 2.5%	1シム/基 ×3基	UT	代表1基の 2.5%	2008年度 第23回	A 15%	—	2011年度 ～ 2020年度 第25保全 サイクル	A 10%	—	—	—	—	—
B3.60	B-D	冷却材入口管台及び出口管台の内面の丸みの部分	体積	代表1基の 2.5%	2箇所/基 ×3基	UT	代表1基の 2.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
B5.70	B-F	冷却材入口管台及び出口管台とセーフエントドとの溶接継手	体積及び表面	代表1基の 2.5%	2箇所/基 ×3基	UT・PT	代表1基の 2.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
B7.30	B-G-2	1次側マンホール取付ボルト	VT-1	代表1基の 2.5%	20本× 2箇所/基 ×3基	VT-1	代表1基の 2.5% (10本)	—	A 5本	—	—	A 5本	—	—	—	—	—
B8.30	B-H	支持部材の容器への取付溶接継手 (水室鏡とサポートパッドとの溶接継手)	表面	代表1基の 7.5%	4箇所/基 ×3基	PT	代表1基の 7.5% (1箇所)	—	—	—	A 1箇所	—	—	—	—	—	—
B15.30	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%	1式	VT-2	漏えい試験時 100% (可能範囲)	100%	100%	—	100%	100%	—	—	—	—	—
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1基の 2.5%	4箇所/基 ×3基	VT-3	代表1基の 2.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A 1箇所

* : 「供用期間中特別検査のうち蒸気発生器管台溶接部の健全性確認検査」も合わせて実施

4. 配管 (1/5)

項目番号	カテゴリ	規格	J S M E S N A I - 2 0 1 2 / 2 0 1 3 / 2 0 1 4	美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)					備考											
				検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法		検査範囲	2008年度 第23回	2009年度 第24保全サイクル	2010年度	2011年度 ~ 2020年度 第25保全サイクル	2021年度 第26保全サイクル	2022年度	2023年度 第27保全サイクル			
B7.50	B-G-2	圧力保持用ボルト、ナット	配管の周溶接継手(呼び径100A以上)	封水注入ライン	VT-1	25%	9箇所	VT-1	25% (3箇所)	1箇所	-	-	-	-	-					
				主冷却材管	体積	25%	36箇所	UT	25% (9箇所)	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所				
				加圧器サージライン	体積	25%	6箇所	UT	25% (2箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所			
				アキムレータ注入ライン	体積	25%	29箇所	UT	25% (8箇所)	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所			
				高温側低圧注入ライン	体積	25%	26箇所	UT	25% (7箇所)	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所			
				余熱除去ポンプ入ロライン	体積	25%	45箇所	UT	25% (12箇所)	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所			
				加圧器安全弁ライン	体積	25%	30箇所	UT	25% (8箇所)	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所			
				低温側低圧注入ライン	体積	25%	45箇所	UT	25% (12箇所)	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所			
				加圧器逃がしライン	体積	25%	12箇所	UT	25% (3箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所			
				加圧器スプレライン	体積	25%	98箇所	UT	25% (25箇所)	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所			
				高温側補助注入ライン	体積	25%	7箇所	UT	25% (2箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所			
				B9.11	B-J	配管の周溶接継手(呼び径100A未満)	配管の周溶接継手(呼び径100A未満)	主冷却材管	表面	25%	1箇所	1箇所	PT	25% (1箇所)	-	-	-	-	-	
加圧器逃がしライン	表面	25%	10箇所					10箇所	PT	25% (3箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所				
充てんライン	表面	25%	9箇所					9箇所	PT	25% (3箇所)	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所				
抽出及び冷却材ドレンライン	表面	25%	41箇所					41箇所	PT	25% (11箇所)	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所				
クロスオーバーバレー分岐閉止管	表面	25%	6箇所					6箇所	PT	25% (2箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所				
加圧器補助スプレライン	表面	25%	33箇所					33箇所	PT	25% (9箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所				
低温側ほう酸注入ライン	表面	25%	23箇所					23箇所	PT	25% (6箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所				
高温側補助注入ライン	表面	25%	39箇所					39箇所	PT	25% (10箇所)	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所				
低温側補助注入ライン	表面	25%	10箇所					10箇所	PT	25% (3箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所				
B9.21								主冷却材管	表面	25%	1箇所	1箇所	PT	25% (1箇所)	-	-	-	-	-	
								加圧器逃がしライン	表面	25%	10箇所	10箇所	PT	25% (3箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
								充てんライン	表面	25%	9箇所	9箇所	PT	25% (3箇所)	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所
				抽出及び冷却材ドレンライン	表面	25%	41箇所	41箇所	PT	25% (11箇所)	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所				
				クロスオーバーバレー分岐閉止管	表面	25%	6箇所	6箇所	PT	25% (2箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所				
				加圧器補助スプレライン	表面	25%	33箇所	33箇所	PT	25% (9箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所				
				低温側ほう酸注入ライン	表面	25%	23箇所	23箇所	PT	25% (6箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所				
				高温側補助注入ライン	表面	25%	39箇所	39箇所	PT	25% (10箇所)	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所				
				低温側補助注入ライン	表面	25%	10箇所	10箇所	PT	25% (3箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所				